

医療法人社団仁生会 甲南病院

2020 年度 病院年報

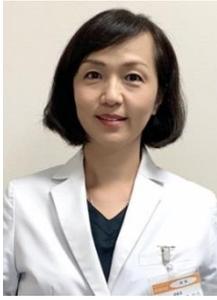


INDEX

1. あいさつ	2	臨床工学部	75
2. 病院概要	5	栄養管理部	77
仁生会 甲南病院の理念と基本方針	6	臨床心理士室	79
仁生会 甲南病院 沿革	7	7. 事務部門	81
施設概要	10	事務部	82
指定・認定施設一覧	11	財務規定課	83
仁生会 職員数	14	総務・人事課	84
組織図	15	医療安全管理部	85
2020年度活動報告	16	医事課	87
3. 統計	21	コンシェルジュ課	88
4. 診療部	27	秘書課	89
内科（総合内科）	28	診療情報管理室	91
消化器内科	29	地域医療連携部	92
循環器科	31	管理情報課	94
心臓血管外科	32	健診センター（事務）	95
脳神経内科	33	8. 併設施設	96
もの忘れ外来	34	在宅医療支援センターこうなん	97
脳神経外科	35	居宅介護支援事業所	98
腎臓内科	36	訪問看護ステーションこうなん	100
糖尿病・代謝内科	37	訪問リハビリテーション事業所	102
呼吸器科	38	ひまわり保育園	103
外科	39	9. 委員会	104
乳腺外科	42	医療安全委員会	105
婦人科	43	医療ガス安全管理委員会	107
整形外科	44	医療情報システム委員会	108
形成外科	46	医療の質業務改善委員会	109
肥満外来	47	衛生委員会	110
放射線科	49	感染対策委員会	111
麻酔科	51	研修委員会	116
血液浄化センター	52	広報委員会	117
健診センター	53	褥瘡対策委員会	118
訪問診療	55	診療記録管理委員会	119
5. 看護部・介護部	56	パートナーシップ倫理委員会	120
看護部	57	防災委員会	121
介護部	61	薬事委員会	122
6. 診療技術部門	63	輸血療法委員会	123
薬剤部	64	臨床検査適正化委員会	124
臨床検査部	67	NST（栄養サポート）委員会	125
放射線部	70	認知症サポート委員会	126
リハビリテーション部	72	編集後記	127

A decorative border consisting of repeating floral motifs, including small flowers and leaves, arranged in a rectangular frame around the page content.

1. あいさつ



2020年度 仁生会 甲南病院年報に寄せて

医療法人社団仁生会 理事長 古倉 みのり

平素より皆様には大変お世話になり誠にありがとうございます。

2020年に始まった新型コロナウイルス感染症は、今もなお世界中に多大な影響を与えております。

マスク、消毒液、ゴーグルや手術用ガウンの不足、患者さんの受診控えなど、当法人においても診療の制限を余儀なくされる苦しい日々が続きました。ワクチンの無かった昨年のことを今思い返しても、目に見えないウイルスとウイルスがもたらす影響は、背筋が冷たくなるほど恐ろしいものでした。まだまだ安心できる段階ではありませんが、手洗い、マスク、消毒、換気、3密回避など、基本的な感染対策を講じれば感染を拡大させないということを改めて学ぶことができました。

患者さん、職員と職員家族の命を守るため、言葉に表すことも困難なほどの緊張感の中で、新型コロナウイルス対策本部会議が頻回に開催されました。院内クラスター発生を防ぐべく、職員一丸となって頑張ってくれました。院長、感染対策委員長、看護部長、事務長の実直な働きがあつて職員、患者さんを守ることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。地域の皆様からは、職員や病院に対する激励のお言葉を頂戴いたしました。貴重なマスクを寄贈して下さった皆様、本当にありがとうございました。ご自分も不安な日々を過ごされている中、「コロナ対応、大変ですね、頑張ってくださいね」「無理しないで身体に気を付けて下さいね」という温かいお言葉をいただきました。感無量でございました。この地域で医療を提供するという役目を与えられたことに感謝いたしました。

新型コロナウイルス感染症パンデミック後、世の中はこれまでの生活から一変しました。

ZOOM、WEB会議が今では当たり前のようになっていますが、世の中が変わるといふ大きな節目の中にいるのだということを感じました。

2020年12月には増築棟が完成いたしました。診察室の増室、発熱患者対応診察室の設置、リハビリテーション室の拡張、地域の皆様にもご活用いただけるセミナールームの設置、健診センターの拡張など地域医療に十分に対応できるよう整えることができました。発熱患者対応診察室がこの時期に完成したことは幸せなことでした。また、セミナールームは現在、コロナワクチン個別接種のために活用できております。増築プロジェクトチームが考えてくれたアイデアが十分に活かされ機能していることがとても嬉しいです。

新型コロナウイルス感染症の影響で、2014年より開催されている比叡山延暦寺僧侶による院内法話会も2020年10月22日のオンライン法話会を最後に休止いただいております。

心の支えが欲しい時に支えてくれる人がいないということはとても辛いもので、再開の日が待ち遠しいです。2021年4月のこととなりますが、当法人(仁生会 じんせいかい) 理念を、『一隅を照らす』と制定いたしました。

人々の心に光を灯すことができますように、地域に光を灯すことができますように、私達は歩んで参ります。至らないことはまだまだございますが、日々改善、向上の努力をする所存でございます。

皆様には、今後ご指導、ご鞭撻賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

感謝の思いを込めて2020年度年報をお届けします。



病院年報発刊に寄せて

医療法人社団仁生会 甲南病院 院長 山本 寛

この度、2020年度の甲南病院の活動状況に関する年報を発刊させていただくことになりました。作成に当たり、ご尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

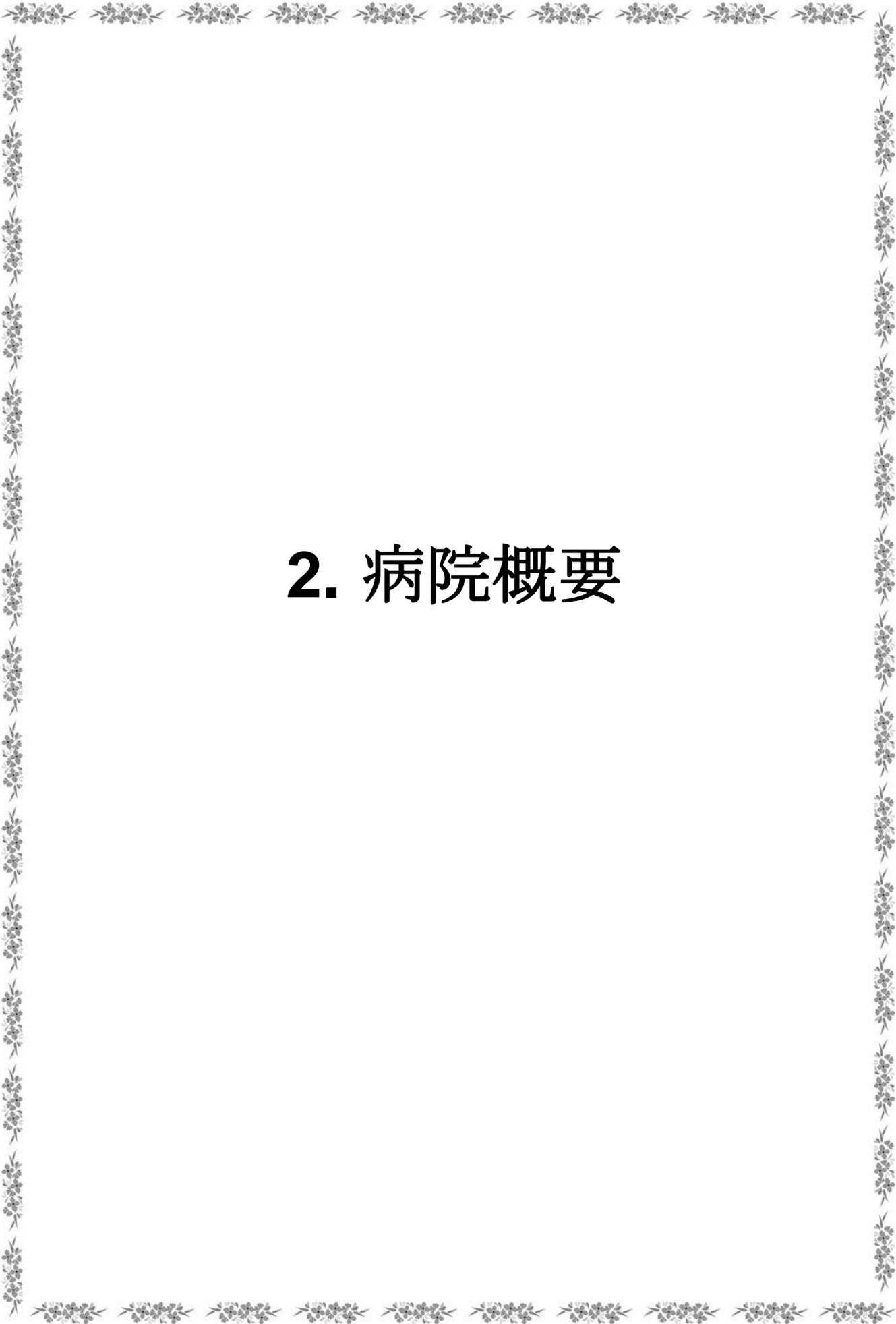
新型コロナウイルス感染症は、人々の暮らしを大きく変えてきました。当院におきましても、医療・看護・介護の通常業務に加え、コロナ対策そしてワクチン接種などのコロナ予防という大切な役割に日々取り組み、国や県、市町村、そして国民、住民の皆様のご支援のおかげで、何とか支え果たして行くことができました。本原稿は、2021年7月現在、つまり東京五輪直前のものですが、本年報が発刊される2021年10月には、ワクチン接種も奏功し、第5波が消退し、緊急事態宣言が解除されていることを切に期待しております。

しかし、ウィズコロナ、アフタコロナ、いずれにあっても、我々はコロナ禍のピンチをチャンスに転じなければいけません。当院でも、コロナ禍に、オンライン面会やAI（WEB）問診の導入などICTの導入を開始し、患者サービス、業務改善に取り組んでおります。

2021年6月にはお陰様で約1年間にわたる増築・改築工事が終了いたしました。工事期間中皆様には多大なご迷惑をおかけいたしました。が、外来診察ブースやリハビリテーション室の拡大、健診・検査部門の充実により、今後さらに良質な医療を提供できるように努めて参ります。また、3密を避け、講演や会議に利用できる広いスペースを確保し、すでに住民の皆様のコロナワクチン個別接種会場としても活用させていただき、今後も様々な機会に地域の皆様にもご利用いただけるようにと考えております。

さらに、2021年末には、当院4度目の病院機能評価を受け、病院体制の一層の充実と医療の質の向上に努めて参ります。

2020年度の年報の発刊に際し、コロナを乗り越える甲南病院の現状と歩みをご紹介させていただけることを幸甚に存じますとともに、日頃より頂戴しております皆様方の多大なご支援に感謝申し上げます。これからも、職員一人一人が法人の理念であります“一隅を照らす”を心にとどめ、病院の理念であります“地域の皆様の安心・信頼・満足を得られるように努力します”を継続して参りますので、今後とも、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

A decorative border consisting of repeating floral and leaf motifs, forming a rectangular frame around the page content.

2. 病院概要

医療法人社団仁生会 理念

「 一 隅 を 照 ら す 」

仁生会 甲南病院の理念と基本方針

理念

「地域の皆様の安心・信頼・満足を得られるよう努力します」

基本方針

1. 患者さん中心の医療に心がけ、プライバシーと権利を尊重します。
2. 医療の質の向上に努め、安全で高度な医療を提供します。
3. 急性期医療から、長期にわたる療養まで安心して受けていただける治療環境を充実します。
4. 地域の医療機関と連携をとり合理的で効率的な医療を目指します。
5. 職員の安心・信頼・満足を得られるよう努力します。

患者さんの権利

1. 平等で適切かつ安全な医療を受ける権利があります。
2. 個人情報やプライバシーは厳正に守られる権利があります。
3. 病気、治療、今後の見通し等について、分かり易く納得出来るまで十分な説明を受ける権利があります。
4. 提案された検査、治療に対して自らの意思で決定する権利があります。
5. 自らの診療記録を見る権利があります。
6. 自分の診療内容について別の医師に聞く権利があります。
7. 十分な医療サービスを人としてふさわしいやり方で受ける権利があります。

患者さんをお願いする事

1. 患者さんの健康状態や病状について、できるだけくわしくお聞かせ下さい。
2. 安全確保のためアレルギー歴などあればきちんとお伝え下さい。
3. 私たちは患者さんとのパートナーシップを重要と思っております。いろいろな形で診療に参加して下さいようお願い申し上げます。
4. 適切な治療を受けられるように病院内では、病院の規則と職員の指示をお守り下さい。

仁生会 甲南病院 沿革

令和3年3月31日現在

昭和39年	8月	甲南町立甲南病院廃止に伴い甲南病院を開設	院長 磯矢 良《病床数 50》
昭和42年	10月	医療法人社団仁生会を設立	理事長 磯矢 良
		本館増改築工事《病床数 65》	
昭和54年	7月	別館増改築工事《病床数 70》	
平成元年	7月	本館第一期増改築工事	
平成2年	7月	本館第二期増改築工事《病床数 80》	
		CT装置導入	
平成2年	12月	診療時間の変更（夜間診療を新設）	
平成3年	3月	医事コンピューター導入	
平成4年	3月	医事課・薬品庫の増築工事	
平成6年	2月	X線室増改築工事（一般撮影用X線装置の増設）	
	12月	新看護の施設基準届出	
		病院託児所新設	
平成7年	7月	X線CT室拡幅、CT装置入れ替え	
平成8年	1月	診療時間の変更（土曜日の夜間診療を追加）	
	11月	診療科目の新設（循環器科・消化器科・呼吸器科）	
平成9年	4月	院長 相馬彰就任	
	7月	診療科目の新設（整形外科）	
	11月	新看護（3.5対1、看護料、看護（B）加算13対1看護補助料）の施設基準届出	
平成10年	4月	診療科目の新設（心臓血管外科・放射線科）	
平成11年	8月	新築移転《病床数一般病棟 50・療養型 100》	
		更生医療機関の指定（心臓血管外科に関する医療）	
平成12年	1月	甲南病院看護職員宿舎「エトワール甲南」完成	
	4月	介護療養型医療施設の指定《療養 44床》	
		看護補助加算（10対1）の施設基準届出	
平成13年	11月	一般病棟入院基本料I群3（3対1）の施設基準届出	
		療養病棟入院基本料2（5対1）の施設基準届出	
平成15年	4月	一般病棟45床増床《病床数一般病棟 95・療養病床 100》	
		介護療養型医療施設の指定変更《療養 62床》	
		居宅支援事業者（短期入所）の指定	
		MRIの導入、ICR、第2手術室の設置、理学療法室の拡張	
	12月	一般病棟4床増床《病床数一般病棟 99・療養病床 100》	
平成16年	2月	救急病院として告示	
	6月	マンモグラフィの導入	
	8月	一般病棟入院基準料I準群入院基本料2（2.5対1）の施設基準届出	

平成 17 年	4 月	会長 磯矢良就任 理事長 相馬彰就任 院長 田中久富就任
	10 月	理事長 古倉みのり就任
平成 19 年	4 月	(財) 日本医療機能評価機構による認定受審
	7 月	一般病棟・療養病棟の再編成 (2A ⇔ 2C) 《病床数一般 100 床・療養 99 床 (医療型 50 介護型 49)》 入院基本料看護基準 10 対 1 の施設基準届出
	8 月	病院内に訪問リハビリテーション事業所を開設
平成 20 年	7 月	透析室の開設 (4 床) 療養病棟の再編成 《病床数一般 100 床・療養 95 床 (医療型 50 床・介護型 45 床)》
平成 21 年	1 月	診療科目の変更 内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、糖尿病・代謝内科、女性内科 外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、心臓血管外科、放射線科、麻酔科
	10 月	療養病棟の再編成 (介護療養型病床の廃止) 《病床数一般 100 床・療養 95 床 (医療型 95 床)》
平成 22 年	4 月	在宅療養支援病院の施設基準届出 急性期看護補助体制加算の施設基準届出
	6 月	健診室を開設
平成 23 年	4 月	診療科目の新設 (婦人科)
	5 月	副理事長 磯矢英士就任
	6 月	人工透析センターを開設 療養病床 4 床増床 《一般 100 床、療養 99 床》
	7 月	仁生会甲南診療所開設 (甲賀市立甲南診療所を引き継ぐ)
平成 24 年	10 月	(財) 日本医療機能評価機構による更新認定受審
平成 25 年	4 月	診療時間の変更 (土曜日午後診療休診) 電子カルテ導入
	7 月	3.0 テスラ MRI 導入 リハビリ室拡張
平成 26 年	4 月	院長 渡田正二就任 診療科目の新設 (肛門外科)
	5 月	ひまわり保育園新築移転竣工
平成 27 年	1 月	地域包括ケア病床 20 床届出
	4 月	診療科目の新設 (形成外科)
	8 月	診療科目の新設 (呼吸器内科、呼吸器外科)
	10 月	心臓リハビリ室開設
平成 28 年	4 月	診療科目の新設 (腎臓内科)

- 8月 在宅医療支援センターこうなんを開設
訪問看護ステーションこうなん、居宅介護支援事業所を移転配置
- 10月 急性期看護補助体制加算 50 : 1 の施設基準届出
- 11月 (財) 日本医療機能評価機構による更新認定受審
- 平成 29 年 8月 マンモグラフィ装置、64 列CT装置更新
- 9月 一般撮影装置更新
生化学分析装置更新
甲南診療所閉院
- 平成 30 年 3月 電子カルテ更新
- 6月 院長 古倉みのり兼任
- 7月 乳房用自動超音波画像診断装置導入
- 平成 31 年 4月 (財) 日本医療機能評価機構中間報告
診療科目の新設 (脳神経外科)
- 12月 ナビゲーションシステム Nav3i 導入
- 令和元年 7月 会長 磯矢良退任
- 8月 地域包括ケア病棟 50 床へ変更届出
- 令和 2 年 1月 院長 山本寛就任
- 4月 全自動輸血検査装置導入
- 8月 循環器用透視撮影装置更新
- 10月 地域包括ケア病棟 80 床へ変更届出
- 12月 増築棟完成 (診察室、リハビリ室等拡張)

施設概要

令和3年3月31日現在

名称	医療法人社団仁生会 甲南病院				
所在地	〒520-3321 滋賀県甲賀市甲南町葛木 958 番地 TEL : 0748-86-3131 (代表) FAX : 0748-86-4131				
開設	昭和 42 年 10 月 24 日 (移設 平成 11 年 8 月 1 日)				
開設者	医療法人社団仁生会				
代表者	理事長 古倉 みのり				
管理者	病院長 山本 寛				
建物	敷地面積 13,739 m ² 、建築面積 5,580 m ² 、延床面積 12,195 m ² 、鉄骨耐火構造 3 階建て				
標榜診療科	内科	消化器内科	循環器内科	呼吸器内科	糖尿病・代謝内科
	腎臓内科	脳神経内科	女性内科	血液内科	外科
	消化器外科	呼吸器外科	肛門外科	乳腺外科	心臓血管外科
	整形外科	形成外科	脳神経外科	婦人科	放射線科
	麻酔科				
診察受付時間	平日	<午前診> 8 : 30 ~ 12 : 00		<午後診> 15 : 30 ~ 18 : 00	
	土曜日	<午前診> 8 : 30 ~ 12 : 00			
休診日	日祝日、土曜日午後、年末年始 (12 月 30 日 ~ 1 月 3 日)、開院記念日 (8 月 1 日)				
病棟	許可病床数 199 床 一般病床 100 床 (地域包括ケア病棟 80 床含)・療養病床 99 床				
主な設備	3T MRI、マルチスライス CT (64 列)、循環器用透視撮影装置、マンモグラフィ装置、乳房用自動超音波画像診断装置、一般撮影装置、X 線 TV 装置、ナビゲーションシステム Nav3i 装置、骨密度測定装置 (全身用、前腕用)、PACS、自動血球計数装置、生化学分析装置、免疫発光測定装置、血液ガス分析装置、超音波画像診断装置、血管内皮機能検査装置、血圧脈波検査装置、肺機能検査装置、トレッドミル負荷心電計、末梢神経伝導速度検査装置、脳波検査装置、全自動輸血検査装置、人工透析装置、手術室 2 室 他				
併設施設	在宅医療支援センターこうなん	ひまわり保育園			
	居宅介護支援事業所	訪問リハビリテーション事業所			
	訪問看護ステーションこうなん				

指定・認定施設一覧

【指定施設】

(財)日本医療機能評価機構認定病院
在宅療養支援病院
救急告示病院
社会保険指定医療機関
国民健康保険指定医療機関
労災保険指定医療機関
身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関
自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
生活保護法指定医療機関
結核予防指定医療機関
原子爆弾被爆者一般疾病医療機関
難病医療費助成指定医療機関
指定居宅介護支援事業所（滋賀県知事指定事業所）
指定訪問リハビリテーション事業所（滋賀県知事指定事業所）
滋賀県特定疾患治療研究事業委託医療機関

【研修・関連施設】

日本外科学会外科専門医制度関連施設
日本整形外科学会専門医制度による研修施設
滋賀県難病医療協力病院

【基本診療料】

機能強化加算
一般病棟入院基本料 5
療養病棟入院基本料 1（在宅復帰機能強化加算）
診療録管理体制加算 2
医師事務作業補助体制加算 1（15対1）
療養環境加算
療養病棟療養環境加算 1
感染防止対策加算 2
患者サポート体制充実加算
入退院支援加算 1
総合評価加算
後発医薬品使用体制加算 3
データ提出加算 1

地域包括ケア入院医療管理料 1
認知症ケア加算 2
急性期看護補助体制加算 (50 : 1)
医療安全対策加算 1
医療安全対策地域連携加算 1
病棟薬剤業務実施加算 1
重症者等療養環境加算
【特掲診療料】
心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に掲げる遠隔モニタリング加算
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
糖尿病透析予防指導管理料
夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に掲げる緊急搬送看護体制加算
療養・就労両立支援指導料の注 2 に掲げる相談体制充実加算
ニコチン依存症管理料
がん治療連携指導料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料 1
別添 1 の「第 14 の 2」の 1 の (2) に規定する在宅療養支援病院
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料
在宅がん医療総合診療料
検体検査管理加算 (Ⅰ)
検体検査管理加算 (Ⅱ)
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
神経学的検査
画像診断管理加算 1
画像診断管理加算 2
CT 撮影及び MRI 撮影
冠動脈 CT 撮影加算
大腸 CT 撮影加算
心大血管疾患リハビリテーション料 (Ⅰ)
脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅰ)
運動器リハビリテーション料 (Ⅰ)
がん患者リハビリテーション料
集団コミュニケーション療法料
人工腎臓
導入期加算 1
透析液水質確保加算 1
下肢末梢動脈疾患指導管理加算

遠隔モニタリング加算（在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料）

脊髄刺激装置埋込術及び脊髄刺激装置交換術

ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術

大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）

腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ切除によるもの）

医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術

輸血管理料Ⅱ

輸血適正使用加算

麻酔管理料（Ⅰ）

酸素の購入単価

【食事】

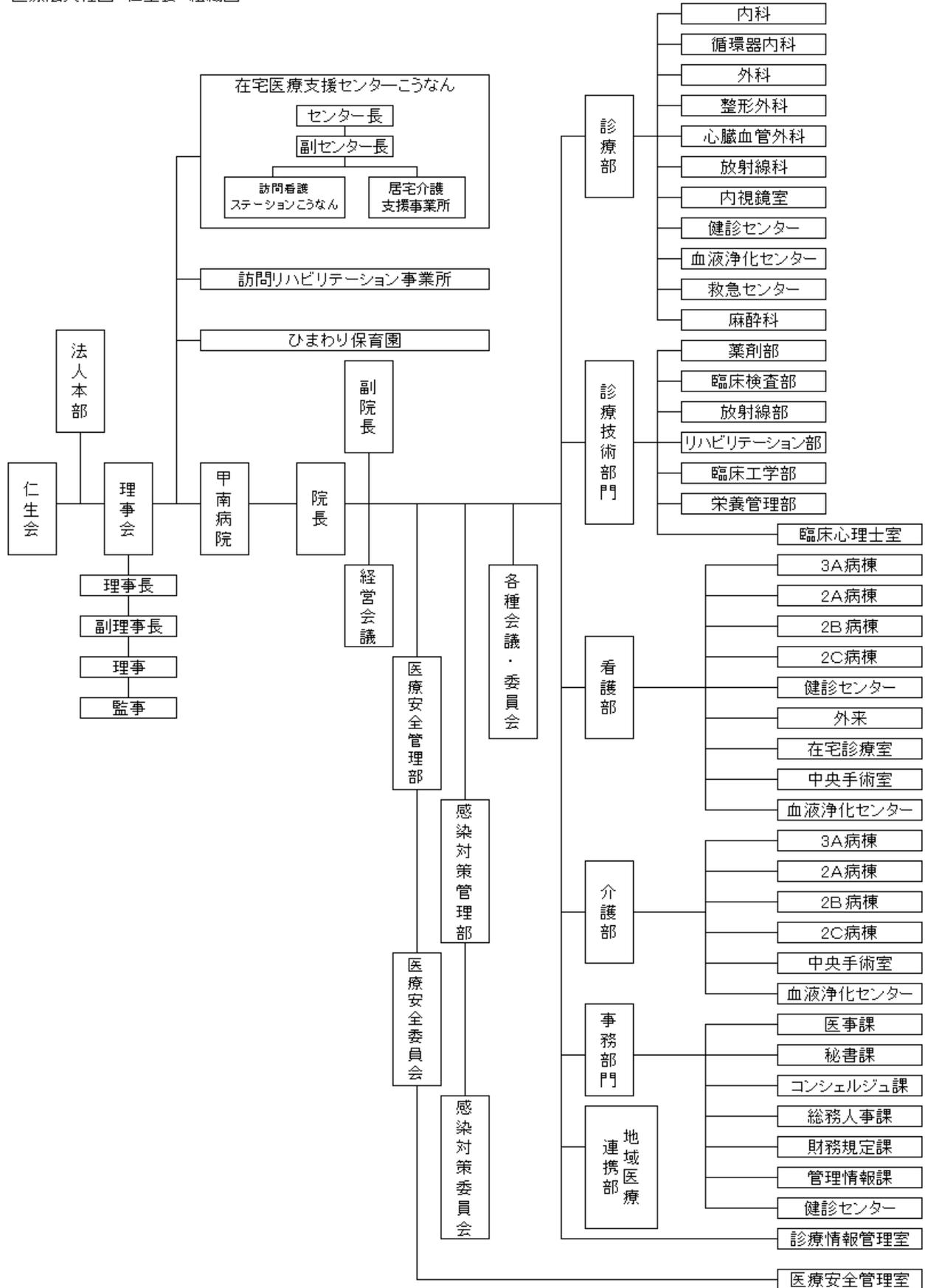
入院時食事療養（Ⅰ）

入院時食事生活療養（Ⅰ）

医療法人社団 仁生会 職員数（令和3年3月31日時点）

単位：名

部署名	常勤	非常勤	合計
診療部	13	48	61
看護部	97	28	125
介護部	44	9	53
医療安全管理室	1	0	1
放射線部	6	1	7
薬剤部	6	6	12
臨床検査部	10	1	11
臨床工学部	8	0	8
リハビリテーション部	30	1	31
栄養管理部	3	0	3
臨床心理士室	2	0	2
地域医療連携部	6	1	7
健診センター	3	3	6
診療情報管理室	2	0	2
管理情報課	4	5	9
コンシェルジュ課	3	6	9
医事課	13	0	13
秘書課	16	0	16
総務・人事課	2	0	2
財務規定課	1	0	1
事務部	2	0	2
法人本部	1	0	1
保育園	6	5	11
居宅介護支援事業所	4	0	4
訪問看護ステーション	6	4	10
総計	289	118	407



2020年度活動報告

行事・イベント

開催日	内容
4月1日	入職式
8月3日	永年勤続表彰式
10月22日	第23回 院内法話会 (WEB開催)
11月17日	院内研究発表会
12月4日	増築棟竣工式
12月4日	大規模災害訓練 (机上訓練)
1月4日	年頭式



入職式



永年勤続表彰式



第23回 院内法話会 WEB開催



院内研究発表会



大規模災害机上訓練



増築棟竣工式



年頭式

院内研究発表会

開催日 11月17日

発表者	職種	論題名
檜野 里奈	看護師	パウチ交換のスタッフの手技統一 ～患者の精神的苦痛の軽減のために～
中村 真太	リハビリテーション部	体幹不安定性の強いパーキンソン病症例 ～移乗動作介助量軽減を目指して～
谷 光	看護部	下肢浮腫の軽減を図る援助 ～慢性腎不全患者に対するフットケアの有効性について～
福田 悠也	薬剤部	入院患者を対象とした下剤使用調査 ～調査結果から見えてきたこと～
————	看護部	転倒による ADL 低下した患者の離床 ～在宅生活を見据えた関わり～
————	看護部	胸椎圧迫骨折患者の排泄動作の再獲得 ～退院後の生活が自宅でなかったとしても～
井口 瑛巴	リハビリテーション部	階段の踏み外しに気付かない一症例 ～足底感覚を意識下に挙げる事で得られた結果について～
————	看護部	ストーマ造設患者のセルフケアによる心の変化 ～手技獲得を目指して～
————	看護部	下腿浮腫のある患者へのケア ～浮腫・苦痛を軽減するフットケアの効果～
田矢 千尋	臨床工学部	輸液ポンプの流量誤差 ～長時間稼働の影響について～
中澤 佳奈子	看護部	患者への認知症予防に対する関わり ～援助者と患者の想いの違い～

院内研修

開催日	内容	主催
5月13日	病院における新型コロナウイルス感染症の対応と課題	感染対策委員会
5月16日	病院における新型コロナウイルス感染症の対応と課題	感染対策委員会
6月11日	よくわかる個人情報の基本と取り扱い方	医療安全委員会
6月17日	よくわかる個人情報の基本と取り扱い方	医療安全委員会
6月20日	よくわかる個人情報の基本と取り扱い方	医療安全委員会
6月26日	よくわかる個人情報の基本と取り扱い方	医療安全委員会
9月7日	人権研修（高齢者の総合的な機能評価併用）	事務部、総務・人事課
9月10日	人権研修（高齢者の総合的な機能評価併用）	事務部、総務・人事課
9月11日	人権研修（高齢者の総合的な機能評価併用）	事務部、総務・人事課
10月5日	交通安全DVD研修	管理情報課
10月6日	交通安全DVD研修	管理情報課
10月7日	交通安全DVD研修	管理情報課
10月8日	交通安全DVD研修	管理情報課
10月9日	交通安全DVD研修	管理情報課
10月10日	交通安全DVD研修	管理情報課
11月11日	職場でできるヒューマンエラー対策	医療安全委員会
11月12日	職場でできるヒューマンエラー対策	医療安全委員会
11月20日	職場でできるヒューマンエラー対策	医療安全委員会
12月10日	職場でできるヒューマンエラー対策	医療安全委員会
12月24日	新型コロナウイルス感染症が変えた医療現場	感染対策委員会
12月25日	新型コロナウイルス感染症が変えた医療現場	感染対策委員会
12月26日	新型コロナウイルス感染症が変えた医療現場	感染対策委員会
2月1日	体操のお兄さん直伝！ 元気が出るスペシャルストレッチ	衛生委員会
2月2日	体操のお兄さん直伝！ 元気が出るスペシャルストレッチ	衛生委員会
2月3日	体操のお兄さん直伝！ 元気が出るスペシャルストレッチ	衛生委員会
2月25日	症例で学べる DESIGN-R に基づく創傷マネジメント	褥瘡委員会
2月26日	症例で学べる DESIGN-R に基づく創傷マネジメント	褥瘡委員会

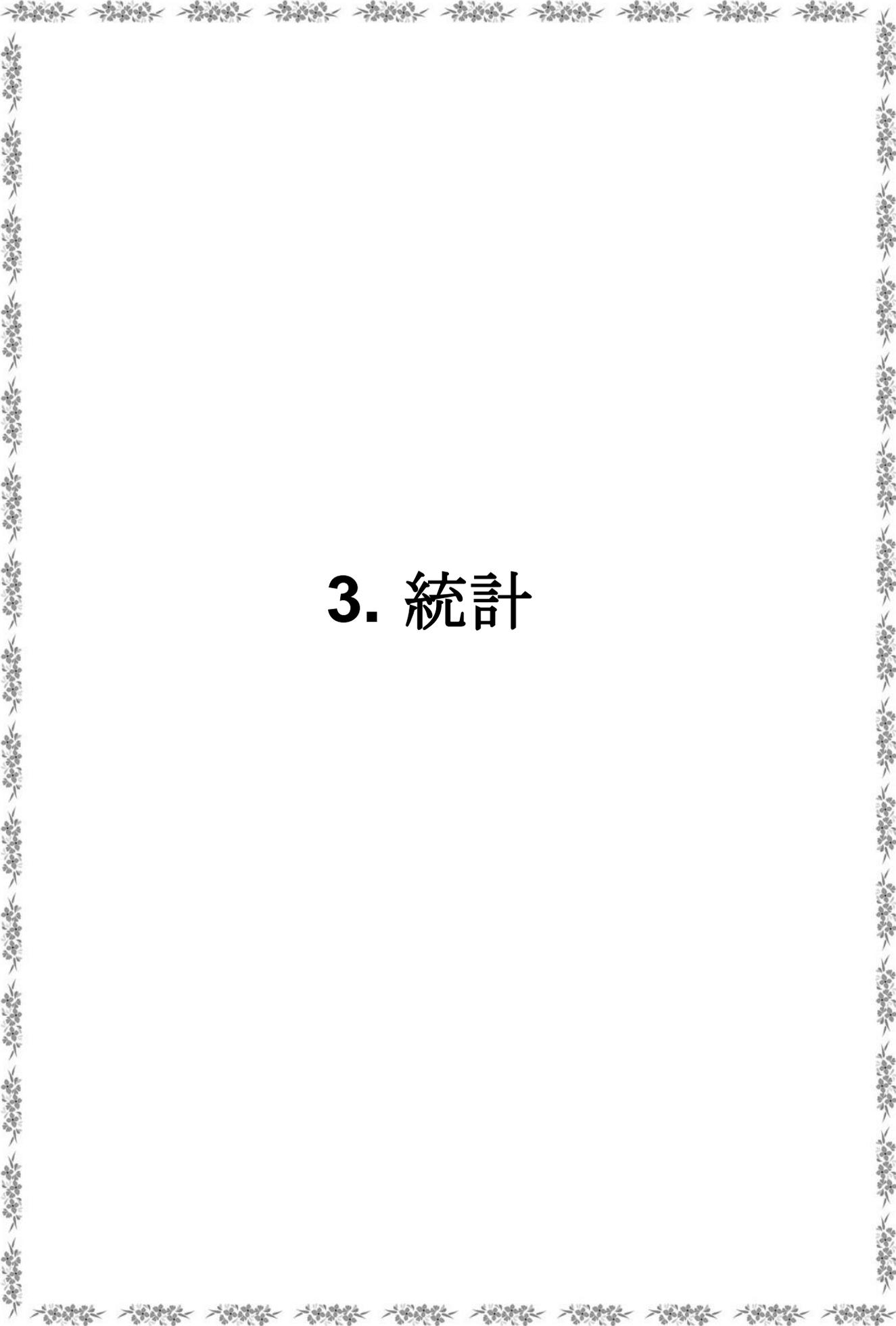
糖尿病教室

開催日	テーマ	場所
5月	新型コロナウイルスの影響により中止	甲南病院
6月	新型コロナウイルスの影響により中止	甲南病院
7月	新型コロナウイルスの影響により中止	甲南病院
8月	新型コロナウイルスの影響により中止	甲南病院
9月	新型コロナウイルスの影響により中止	甲南病院
11月 9日	シックデイについて 等	甲南病院
12月 14日	糖尿病治療 等	甲南病院
1月 25日	低血糖について 等	甲南病院
2月 8日	糖尿病の急性合併症 等	甲南病院
3月 8日	糖尿病まとめ 等	甲南病院

地域住民向けの教育、啓発活動

出前健康講座 DVD 貸し出しのみ

開催日	テーマ	担当部署
11月	高齢者の栄養	栄養管理部
3月	ゴムチューブを使った運動	リハビリテーション部

A decorative border consisting of repeating floral and leaf motifs in a dark grey color, framing the page on all four sides.

3. 統計

統計

1. 外来患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延患者数	5,126	4,528	5,362	5,245	4,391	4,866	5,367	4,926	5,224	4,906	4,763	5,477	60,181
新患者数	103	110	140	133	77	144	130	144	137	118	121	134	1,941
1日平均	205.0	196.9	206.2	209.8	183.0	202.8	198.8	214.2	209.0	213.3	216.5	210.7	205.4

2. 入院患者数

一般病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延患者数	1,266	1,362	1,377	1,450	1,446	1,327	584	565	551	551	476	527	11,482
在院日数	17.8	16.0	16.9	18.2	16.8	18.4	11.0	16.4	12.9	10.7	14.0	12.3	-
病床利用率	79.9	82.9	87.7	89.4	88.0	84.3	87.9	90.0	84.8	83.7	80.7	79.8	84.9
地域包括	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延患者数 2A	1,349	1,462	1,455	1,492	1,448	1,395	1,448	1,471	1,519	1,463	1,367	1,469	17,338
延患者数 3A	-	-	-	-	-	-	832	859	908	898	853	924	5,274
在院日数 2A	22.4	27.4	27.0	26.3	23.0	22.9	21.2	25.5	23.3	25.5	26.6	26.5	-
在院日数 3A	-	-	-	-	-	-	17.0	21.3	19.4	19.9	18.8	17.7	-
病床利用率 2A	85.5	91.4	93.0	92.7	89.9	89.1	89.1	93.6	93.6	90.8	93.93	90.77	91.1
病床利用率 3A	-	-	-	-	-	-	84.8	91.2	94.1	92.8	97.38	95.05	92.6
医療療養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延患者数	2,846	2,987	2,979	3,069	3,073	2,948	3,023	2,965	3,063	2,859	2,649	3,033	35,494
在院日数	145	110	148	161	195	128	95	219	127	142	123	121	-
病床利用率	95.0	96.6	99.6	99.4	99.5	98.5	97.5	99.4	99.1	92.5	94.8	98.0	97.5

3. 科別患者数

◆ 内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合内科	458	455	504	523	462	518	544	501	518	466	465	522	5,936
新患外来	94	77	103	116	77	127	83	91	79	85	95	112	1,139
午後外来	208	161	264	241	258	241	259	254	222	190	197	308	2,803
入院	124	128	129	120	126	118	130	126	129	112	102	120	1,464

◆ 消化器内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	339	302	357	374	331	334	386	317	367	371	399	430	4,307

◆ 循環器科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	563	459	516	564	505	517	566	490	554	509	470	577	6,290
入院	29	35	40	43	47	43	46	44	42	51	43	40	503

◆ 睡眠時無呼吸外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	6	6	4	5	4	7	5	1	5	3	5	3	54

◆ 禁煙外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	0	0	1	0	0	3	1	3	4	0	1	0	13

◆ 心臓血管外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	8	17	13	18	14	9	11	4	10	10	3	11	128
入院	3	3	1	3	5	2	2	2	2	4	4	4	35

◆ 神経内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	17	10	19	25	21	25	22	23	19	20	21	23	245

◆ もの忘れ外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	100	80	95	96	78	86	90	71	93	95	73	106	1,063

◆ 脳神経外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	23	26	23	25	33	23	36	27	35	34	17	46	348

◆ 腎臓内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	84	77	91	85	86	68	104	76	97	90	72	101	1,041

◆ 糖尿病・代謝内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	250	223	216	262	244	232	256	232	284	216	241	271	2,927

◆ 呼吸器科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	30	25	26	29	23	29	33	34	27	27	31	27	341

◆ 外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
午前外来	204	192	237	269	203	257	268	244	244	235	219	284	2,856
午後外来	15	14	20	18	19	19	25	8	27	16	8	25	214
入院	39	36	29	35	35	48	50	38	48	44	46	50	498

◆ 肥満外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	9	6	13	14	13	27	16	14	12	16	18	17	175

◆ 麻酔科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	11	11	18	10	14	18	12	11	25	14	18	20	182

◆ 乳腺外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	36	30	46	33	29	27	40	41	34	30	23	40	409

◆ 婦人科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	14	18	56	79	83	121	103	113	105	92	79	77	940

◆ 整形外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	857	767	978	1,046	895	908	973	952	936	948	881	949	11,090
入院	86	77	82	79	81	76	77	72	70	81	95	89	965

◆ 膝外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	31	34	27	36	31	36	23	29	34	32	31	44	388

◆ 脊椎外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	20	26	27	28	24	30	25	28	29	31	35	31	334

◆ 形成外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	31	23	49	35	17	37	43	27	20	24	23	18	347

◆ 透析センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	783	785	769	837	821	828	855	752	808	776	763	876	9,653
入院	29	25	29	24	17	19	23	28	25	22	16	16	273

◆ 健診センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受診者	35	56	353	332	286	395	509	495	352	193	190	181	3,377

◆ 訪問診療

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	87	85	101	104	79	75	98	86	99	100	86	73	1,073

4.紹介率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
紹介率	55.4	47.5	46.5	45.3	42.0	43.4	47.1	41.7	40.3	44.9	46.0	43.7	45.0
逆紹介率	22.4	16.0	17.4	16.9	19.3	18.8	22.7	15.9	19.8	15.6	18.2	14.6	18.0

5.地域別入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
甲南町	55	71	59	55	60	58	66	58	51	68	54	55	710
甲賀町	19	30	32	27	30	27	32	22	34	14	24	24	315
水口町	21	16	26	23	22	26	37	26	25	24	25	35	306
土山町	9	10	7	9	9	9	11	7	12	14	5	5	107
信楽町	18	9	12	15	15	7	1	9	7	14	10	11	137
日野町	0	1	1	0	1	3	3	0	2	2	1	1	15
湖南市	1	3	4	2	3	2	6	2	5	5	9	3	45
その他県内	2	2	4	4	0	2	4	5	3	1	0	5	32
伊賀市	9	9	5	4	7	7	9	11	7	7	4	5	84
その他県外	0	3	1	1	0	0	1	3	0	0	1	1	11
合計	134	154	151	140	147	141	179	143	146	149	133	145	1,762

6.地域別退院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
甲南町	64	66	55	52	76	59	66	48	58	53	59	60	716
甲賀町	25	18	32	34	27	31	29	22	30	29	14	28	319
水口町	23	20	20	24	11	18	42	34	27	24	27	28	298
土山町	10	6	9	8	10	10	8	10	11	12	8	8	110
信楽町	15	13	12	9	21	8	9	9	5	10	12	12	135
日野町	0	1	2	0	1	2	3	1	2	1	0	2	15
湖南市	2	3	2	3	1	3	5	5	3	4	7	8	46
その他県内	2	2	3	3	2	1	5	4	4	1	1	3	31
伊賀市	15	11	5	4	4	10	10	8	9	7	1	11	95
その他県外	1	3	2	1	1	1	1	3	1	0	2	0	16
合計	157	143	142	138	154	143	178	144	150	141	131	160	1,781

A decorative border consisting of repeating floral motifs, including small flowers and leaves, arranged in a rectangular frame around the page content.

4. 診療部

内科（総合内科）

1.概要

当院は地域性により高齢者が多いため、多疾患を合わせ持つ患者さんが多く、総合内科では感染症、生活習慣病をはじめ疾患は多岐にわたっています。循環器外来、消化器外来、糖尿病外来、膠原病、腎臓内科、呼吸器外来などがあり、必要に応じて院内で紹介しています。ほとんどの画像検査、生理検査は当日に施行できるため、適切に診断・治療を行い、入院の適応を判断するなどスムーズな診療が可能です。診察は月曜日～土曜日の午前診を行っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
理事長	古倉 みのり	日本医師会認定産業医 認知症サポート医
理事	片岡 慶正	日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医 日本膵臓学会指導医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本超音波医学会専門医・指導医
診療部長	馬場 真奈美	日本内科学会認定内科医 日本神経内科学会専門医 日本医師会認定産業医 認知症サポート医
医員	米村 岳尚	
非常勤医師	佐川 友哉	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会専門医 日本リウマチ学会専門医
非常勤医師	新谷 修平	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医

◆ 他スタッフ

非常勤医師 2名

3.診療実績

- ◆ 午前外来患者数 7,075名
- ◆ 午後外来患者数 2,803名
- ◆ 入院患者数 1,464名

消化器内科

1.概要

現在、消化器内科は常勤医師 2 名と非常勤医師 5 名により診療と検査を行っています。検査は、上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を中心に行っています。内視鏡検査以外にも出血性潰瘍に対する止血術や食道静脈瘤に対する治療のほか、内視鏡的胃粘膜切除術や大腸ポリープ切除術も行っています。膵臓・胆管領域では、胆管結石に対する内視鏡的結石除去術を行い、閉塞性黄疸に対しては、内視鏡的減黄術や経皮的ドレナージ術を行い対応しています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
内視鏡室長	馬場 修	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本医師会認定産業医 日本ヘリコバクター学会認定医
医員	瀬川 秀和	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本血液学会専門医 日本医師会認定産業医
非常勤医師	古倉 聡	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本ハイパーサーミア学会指導医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 日本癌治療学会臨床試験登録医 日本がん治療医認定機構暫定教育医 日本消化管学会胃腸科認定医 日本抗加齢医学専門医
非常勤医師	高橋 憲一郎	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医
非常勤医師	土屋 さやか	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
非常勤医師	高田 智規	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医

非常勤医師	今井 隆行	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
-------	-------	------------------------------

3.診療実績

◆ 外来患者数 4,307 名

◆ 検査件数 単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃カメラ	65	74	157	173	104	157	190	165	164	127	130	133	1,639
大腸カメラ	37	19	48	33	42	41	55	38	56	40	62	64	535
ポリペク	6	5	6	4	3	7	10	13	7	2	4	13	80
ERCP	0	4	0	0	3	0	0	1	2	1	1	1	13
PEG 造設	0	1	1	0	1	1	0	2	1	0	1	1	9
胃ろうチューブ交換	1	1	2	0	7	3	3	1	1	0	1	3	23

*ERCPには ERBD、ENBD、EST など含む

循環器科

1.概要

現在、循環器科は常勤医師 2 名、非常勤医師 1 名体制で心筋梗塞・狭心症・閉塞性動脈硬化症・内シヤント狭窄のカテーテル検査・治療、徐脈性不整脈に対するペースメーカー植え込み術、心不全、不整脈の内服加療等を行っており、心臓リハビリテーションも積極的に行っております。2017 年 8 月に冠動脈 CT が導入され、より早期の虚血性心疾患の診断が可能となっております。

当科は何より患者さんのためになるよう考え、より安全に治療することを心がけて診療をさせていただいております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
循環器部長	川浪 二郎	日本内科学会認定内科医 日本循環器学会専門医 日本医師会認定産業医
心臓血管外科部長 血液浄化センター長	西 崇男	
非常勤医師	窪田 浩志	日本内科学会認定内科医 日本心血管インターベンション 治療学会認定医

3.診療実績

◆ 外来患者数	6,290 名		
◆ 入院患者数	503 名		
◆ 睡眠時無呼吸外来患者数	54 名		
◆ 禁煙外来患者数	13 名		
◆ 検査件数・手術件数など			
心エコー	1,389 件	恒久的ペースメーカー植え込み術	12 件
心臓カテーテル検査	87 件	ペースメーカー電池交換術	5 件
経皮的冠動脈形成術	30 件		

心臓血管外科

1.概要

当科では動脈疾患は主に腹部大動脈領域以下の末梢血管外科を中心に、また下肢静脈疾患・リンパ疾患を診療しております。特に閉塞性動脈硬化症に対しては、血管内カテーテル治療または手術加療を行っておりますが、心臓血管外科医が担当することで、一度の治療で両者を同時に行うことが出来るという特長があります。また、手術加療の適応とならない患者さんに対しても、内服などの保存的加療および療養指導を行っております。

また、透析患者さんのシャント設置術および経皮的拡張術も行っております。

診察日は金曜日午後の「足の血管外来（完全予約制）」です。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
心臓血管外科部長 血液浄化センター長	西 崇男	

3.診療実績

- ◆ 外来患者数 128 名
- ◆ 入院患者数 35 名
- ◆ 検査件数
 - 下肢動脈造影 10 件
 - シャント造影 16 件
- ◆ 手術件数

下肢静脈瘤手術	3 件
動脈血栓摘出術	1 件
シャント設置術	6 件
経皮的シャント拡張術	42 件

脳神経内科

1.概要

当院では頭痛、しびれ、めまいなどを主訴とする **common disease** が多く、外来は脳血管障害、認知症、パーキンソン病、てんかんの患者さんが多くおられます。入院では、高齢患者さんが大半を占めるため、誤嚥性肺炎が最も多く、次に脳梗塞含む脳血管障害、パーキンソン病関連疾患、めまいの患者さんが多くおられます。

およそ当日に、CT・MRI・レントゲンなど画像検査、エコー・採血含め生理検査を行うことが可能です。ただし、脳波や神経伝導検査、髄液検査は、すべての症例において当日に検査をすることは難しく、認知症やパーキンソン病の補助検査としての RI 検査、神経筋疾患の補助検査である針筋電図は近隣施設へ依頼しています。また、脳梗塞急性期のt-PAは施設基準を満たさず、当院では施行していません。脊髄疾患は当院では主に整形外科で診ており整形外科医師と連携をとっています。当院のリハビリは理学療法、作業療法、言語療法とレベルの高い常勤スタッフがおり、急性期・亜急性期、そして慢性期の患者さんも受け入れています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
診療部長	馬場 真奈美	日本内科学会認定内科医 日本神経内科学会専門医 日本医師会認定産業医 認知症サポート医

3.診療実績

- ◆ 外来患者数 245 名
- ◆ 紹介件数 22 件

もの忘れ外来

1.概要

2017年3月から運転免許証更新の際に認知機能検査が必須となり、また高齢化により認知症の診断や治療を希望する方が増えています。2018年1月に特殊外来として「もの忘れ外来」を開設しました。午前中は再診患者枠で予約制とし主に内服治療を行い、ご家族の日頃の不安や悩みについてアドバイスも行っております。午後は新患者枠で完全予約制としております。頭部CT、認知症採血、認知検査を行ったうえで、認知症サポート医が診察をして本人とご家族へ結果を説明しています。当院は、臨床心理士2名が認知検査、心理検査を担当し、詳細な結果報告と生活上のアドバイスを提案しているため患者さんの日常生活に役立っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
診療部長	馬場 真奈美	日本内科学会認定内科医 日本神経内科学会専門医 日本医師会認定産業医 認知症サポート医

3.診療実績

- ◆ 外来患者数 1,063名
- ◆ 紹介件数 21件

脳神経外科

1.概要

脳神経外科とは、脳神経系の疾患に対して外科治療を行う専門家です。普段は他の病院で、脳神経内科とともに脳卒中センターを運営し、滋賀県で最も多くの脳卒中患者さんの診療や手術を行っております。

当科では、脳血管障害（脳動脈瘤、脳動静脈奇形、脳出血、脳梗塞、頸部頸動脈狭窄など）、脳腫瘍、頭部外傷（慢性硬膜下血腫を含む）、さらには水頭症（2次性水頭症、正常圧水頭症）などを中心に診療を行っております。最新鋭の3T-MRIや64列CT、エコー機器を用いて高精細な画像、さらには3D画像を駆使して、詳細な診断を行い、治療方針を検討しております。内科的な治療が中心となる疾患に関しましては脳神経内科と連携して診療に当たっております。脊髄疾患に関しましては整形外科に診療を依頼しております。また最近ではヘリコプター等で搬送され、遠方の他院で急性期治療を受けられる方が増えております。地元に戻ってこられた際には、他院で行われた術後の経過観察も積極的に行っております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	岡 英輝	日本脳神経外科学会専門医・指導医 日本脳卒中学会指導医 日本脳卒中外科学会技術指導医 日本神経内視鏡学会技術認定医 日本脳神経外傷学会指導医

3.診療実績

◆ 外来患者数 348名

腎臓内科

1.概要

当科では、健診などで尿潜血やたんぱく尿など、尿に異常を指摘された方、高血圧や糖尿病などから腎臓が悪くなった方など、多くの腎疾患の診療を行っています。腎疾患は、いろいろな病態が組み合わさっています。その中でも、新たな国民病とも言われている **CKD**（慢性腎臓病）は、進行すると腎移植や透析療法が必要となるだけでなく、心筋梗塞や脳卒中等の発症リスクも高まります。早期治療が必要であるにも関わらず、初期には自覚症状が少ないため注意を必要とします。**CKD** の進行を予防するために、診療所からの紹介患者さんにも、病診連携にて継続的な治療・指導を行います。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	宇津 貴	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本糖尿病学会専門医 日本腎臓学会専門医・指導医 日本高血圧学会専門医・指導医 日本透析医学会専門医・指導医 日本医師会認定産業医 医学博士
非常勤医師	藤野 佳彦	日本内科学会認定内科医

3.診療実績

◆ 外来患者数 1,041 名

糖尿病・代謝内科

1.概要

当科では、主として生活習慣病（糖尿病、脂質異常症、高血圧症、高尿酸血症）の治療を行っています。当院は健診から生活習慣病に対する指導及び適切な診断・治療を行っています。

また、医師を含む他職種で糖尿病教室（月 1 回）を開催しています。患者さんやご家族はもとより、地域の皆様に対して、糖尿病に対する正しい知識の啓蒙を行うとともに、スタッフ一同患者さんへの指導を行っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	木村 智紀	日本内科学会認定内科医
非常勤医師	畑 真之介	日本内科学会認定内科医
非常勤医師	西村 公宏	日本内科学会認定内科医 日本糖尿病学会専門医

3.診療実績

◆ 外来患者数 2,927 名

呼吸器科

1.概要

当科は、咳、痰、息切れなどの呼吸器症状を有する患者さんや胸部画像検査で異常を認めた患者さんに対して診療を行っています。対象疾患は、主に肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、気胸、肺がんなどです。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	大塩 恭彦	日本外科学会専門医・指導医 日本呼吸器外科学会専門医 日本呼吸器外科学会評議員 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医 日本呼吸器内視鏡学会評議員 日本胸部外科学会評議員 近畿外科学会評議員
非常勤医師	岡本 圭伍	日本外科学会専門医 日本呼吸器外科学会専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 近畿外科学会評議員
非常勤医師	賀来 良輔	日本外科学会専門医 日本呼吸器外科学会専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 近畿外科学会評議員

3.診療実績

◆ 外来患者数 341名

外科

1.概要

2019年1月より山本寛医師が就任し、常勤医師は2人体制になりました。腹腔鏡下手術も積極的に行い、腹腔鏡下胃切除、結腸切除、直腸切除、鼠径ヘルニア修復術、胆嚢摘出術などを施行しています。

山本寛医師はこれまで滋賀医科大学、草津総合病院で上部消化管外科、腹腔鏡外科、肥満外科を専門としておりましたので、当院でもその領域の診療(腹腔鏡下胃切除、腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術、肥満手術)を積極的に進めています。2020年度には高度肥満患者さんに対しての腹腔鏡下胃スリーブ切除術を2例施行しています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
理事	谷 徹	日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医 日本大腸肛門病学会認定医・専門医・指導医 日本アフェレシス学会認定専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
院長	山本 寛	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医・指導医・近畿支部評議員 日本内視鏡外科学会技術認定医・評議員 日本臨床外科学会評議員 日本腹部救急学会 評議員、暫定教育医 日本肥満症治療学会評議員・メタボリックサージェリー検討委員会委員・データベース委員会委員・肥満外科治療 ガイドラ

		<p>イン策定委員会委員・保険診療問題委員会委員・肥満外科手術認定制度準備委員会委員・教育委員会委員・プログラム委員会委員</p> <p>日本食道学会認定医</p> <p>日本肥満学会専門医・評議員・ガイドライン作成委員・カリキュラム作成医員・専門医試験作成委員</p> <p>近畿肥満外科治療研究会代表世話人</p> <p>抗加齢学会専門医</p> <p>Member of International Federation for the Surgery of Obesity and Metabolic Surgery</p> <p>Member of Asia Pacific Metabolic and Bariatric Surgery Society</p>
副院長 外科部長	神谷 純広	<p>日本外科学会専門医</p> <p>日本消化器外科学会専門医</p> <p>日本がん治療認定医機構がん治療認定医</p>
非常勤医師	森川 茂廣	<p>医学博士</p> <p>日本消化器外科学会認定医・指導医</p> <p>日本外科学会認定医</p>
非常勤医師	小島 正継	<p>日本外科学会専門医</p> <p>日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医</p> <p>日本消化器病学会専門医</p> <p>日本乳癌学会認定医</p> <p>マンモグラフィ検診制度管理中央委員会マンモグラフィ検診読影認定医</p> <p>日本がん治療認定医機構がん治療認定医</p> <p>ICD 制度協議会インフェクションコントロールドクター</p>

		日本緩和医療学会緩和医療認定医
非常勤医師	前平 博充	日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医(胆道) 日本肝胆膵外科学会高度技術専門医 日本膵臓学会認定指導医 日本肝臓学会肝臓専門医 日本胆道学会認定指導医 インフェクションコントロールドクター

- ◆ 他スタッフ
非常勤医師 4名

3.診療実績

- ◆ 外来患者数 3,070名
- ◆ 入院患者数 498名
- ◆ 手術件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	14	9	11	4	6	20	14	11	12	11	13	12	137

乳腺外科

1.概要

当科では、乳腺疾患の診断、乳がんに対する薬物療法、治療後の経過観察を行っています。近年乳がんが話題となり、検診での早期発見例が増えています。

当院では、乳腺超音波検査、マンモグラフィ検査、乳腺 MRI 検査、超音波ガイド下にて細胞診や針生検などを行っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	寺村 康史	

◆ 他スタッフ

非常勤医師 2名

3.診療実績

◆ 外来患者数 409名

婦人科

1.概要

当科では、毎週水曜日午前に非常勤医師が婦人科疾患全般（子宮筋腫、月経不順、月経調整、不正出血、おりもの、かゆみ等）や、子宮がん検診の診察を行っています。ただし、婦人科疾患の大きな処置及び入院治療は行っていません。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	尾上 敏子	

3.診療実績

◆ 外来患者数 940 名

整形外科

1.概要

患者さん、ご家族が安心して笑顔で過ごせることを目標に診療しています。

今年度はコロナ禍のなかにもありながらも、地域住民の皆様に対し例年と大きな遜色なく治療を提供できました。ひとえに近隣の甲賀病院をはじめ、コロナ対応に全力をあげ地域住民の安全を守っておられる医療者に深く感謝する次第です。

引き続き、一般整形から専門性の高い高度な治療まで受けて頂けるよう、骨粗鬆症チームや離床サポートチームを編成し微力ながら活動を継続しております。また滋賀医科大学から非常勤医師をお迎えし、最先端で高度な医療を提供させて頂いております。脊椎手術やナビゲーションを用いた人工膝関節手術も症例数が増加してきております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
副理事長	磯矢 英士	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本リウマチ学会専門医
非常勤医師	松末 吉隆	日本リハビリテーション医学会専門医・指導医 日本リウマチ学会専門医・指導医 日本整形外科学会専門医
非常勤医師	森 幹士	日本整形外科学会専門医 日本脊椎脊髄病学会指導医 日本リウマチ学会専門医 日本脊椎脊髄外科専門医 日本リウマチ財団登録医 日本整形外科学会リウマチ医・認定医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション医 日本リハビリテーション医学会認定医
非常勤医師	児玉 成人	日本整形外科学会整形外科専門医 日本整形外科学会認定リウマチ医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

		日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医 日本リウマチ学会リウマチ専門医 日本手外科学会専門医
非常勤医師	久保 充彦	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 医学博士 日本整形外科学会認定スポーツ医 日本人工関節学会認定医
非常勤医師	宮本 浩次	日本整形外科学会専門医 日本骨粗鬆症学会認定医
非常勤医師	彌山 峰史	日本整形外科学会専門医 日本リウマチ学会専門医・指導医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本脊椎脊髄病学会指導医 中部日本整形外科災害学会評議員
非常勤医師	高村 裕史	日本整形外科学会専門医

◆ 他スタッフ

非常勤医師 2名

3.診療実績

◆ 外来患者数

整形外科 11,090名

膝外来 388名

脊椎外来 334名

◆ 入院患者数 965名

◆ 手術件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	25	24	24	25	26	24	32	24	28	32	33	23	320

形成外科

1.概要

当科では、外傷（皮膚損傷）、皮膚皮下腫瘍（いぼ、ほくろ、おでき等）、傷あと、やけど、褥瘡、巻爪、眼瞼下垂、顔面の骨折等の整容的問題の形態回復を図る処置、手術を行っています。また、CO₂レーザー治療器を導入し、いぼ、ほくろ、しみなどに対して治療を行っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	吾妻 隆久	日本形成外科学会専門医

3.診療実績

◆外来患者数 347 名

◆手術件数

皮膚腫瘍摘出術	35 件
皮下腫瘍摘出術	23 件
眼瞼下垂症手術	6 件
皮膚血管腫摘出術	1 件
瘢痕拘縮形成手術	1 件
腐骨摘出術（下腿）	1 件
遷延皮弁術	1 件
全層植皮術	1 件
皮弁作成術	1 件
合計	70 件

肥満外来

1.概要

BMI35以上の高度肥満症は、内科治療では改善が困難で、外科治療(腹腔鏡下スリーブ状胃切除術：保険適応あり)が推奨されています。さらに、この手術は、肥満にとどまらず、糖尿病を含む肥満関連疾患を劇的に改善する効果があり、糖尿病治療のガイドラインにも、高度肥満を伴う糖尿病患者さんに対して、手術が推奨されています。当院では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床心理士、ソーシャルワーカーなどの専門家からなる肥満外科治療チームが患者さんをサポートします。

2020年より、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を開始いたしました。コロナ禍ではありますが、状況を見ながら、手術を含めた肥満症治療を進めてまいります。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
院長	山本 寛	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医・指導医・近畿支部評議員 日本内視鏡外科学会技術認定医・評議員 日本臨床外科学会評議員 日本腹部救急学会 評議員、暫定教育医 日本肥満症治療学会評議員・メタボリックサージェリー検討委員会委員・データベース委員会委員・肥満外科治療ガイドライン策定委員会委員・保険診療問題委員会委員・肥満外科手術認定制度準備委員会委員・教育委員会委員・プログラム委員会委員 日本食道学会認定医 日本肥満学会専門医・評議員・ガイドライン作成委員・カリキュラム作成医員・専門医試験作成委員

		近畿肥満外科治療研究会代表世話人 抗加齢学会専門医 Member of International Federation for the Surgery of Obesity and Metabolic Surgery Member of Asia Pacific Metabolic and Bariatric Surgery Society
副院長 外科部長	神谷 純広	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 がん治療認定医
診療部長	馬場 真奈美	日本内科学会認定内科医 日本神経内科学会専門医 日本医師会認定産業医 認知症サポート医
健診センター長	上田 浩史	日本医師会認定産業医

◆ 他スタッフ

管理栄養士 1名、理学療法士 3名、看護師 3名、臨床心理士 1名、社会福祉士 1名、薬剤師 1名、臨床検査技師 1名、事務職員 2名



3. 診療実績

◆ 外来患者数 175名

4. 業績（論文）

1. Prediction of long-term diabetes remission after metabolic surgery in obese east asian patients: a comparison between ABCD and IMS scores. Ohta M, Yosuke Seki, Tetsuji Ohyama, Rixing Bai, Sang Hyun Kim, Takashi Oshiro, Tao Jiang, Sasaki A, Naitoh T, Tsuyoshi Yamaguchi, Susumu Inamine, Yasuhiro Miyazaki, Soo Min Ahn, Yoonseok Heo, Hui Liang, Seung Ho Choi, Wah Yang, Qiyuan Yao, Kentaro Inoue, Hiroshi Yamamoto, Hyuk Joon Lee, Young Suk Park, Tae Kyung Ha, Seung Wan Ryu, Cunchuan Wang, Sungsoo Park, Kazunori Kasama; *Obes Surg.* 2021 April 31(4):1485-95.
2. Geometry of sleeve gastrectomy measured by 3D CT versus body weight loss: Preliminary analysis. Tsuyoshi Yamaguchi, Hiroshi Yamamoto, Yuki Tomozawa, Satoshi Ugi, Sachiko Kaida, Toru Miyake, Katsutaro Morino, Masaji Tani. *Endocr J.* 2019 Sep 28;66(9):817-826.

4. 業績（科学研究費獲得）

1. 令和2年度科学研究費助成金 基盤研究C（令和2~4年度）
研究課題名「高度肥満症に対する外科治療の費用対効果に関する研究」

放射線科

1.概要

当科にて、2013年度に Philips 社製 3T MRI、2015年度に東芝社製 FPD X 線透視装置、2017年度に GE 社製 64 列 Dual Energy CT、GE 社製マンモグラフィ装置（トモシンセシス）、島津社製一般撮影装置、そして 2018年度に ABUS（自動乳房超音波装置）が導入されました。最新の機器設置により最先端の医療に対応可能な画像環境が整えられました。

診療体制は、2018年度より非常勤の放射線診断医が 1 名加わり、計 3 名の体制で画像診断を行っています。当院で撮影される一般診療と健診におけるほぼ全ての画像において即時読影を行うことにより、他科からの依頼に対し質の高い画像診断の迅速な提供を可能にしています。また、近隣の医療機関からの撮影、読影依頼についても同様に対応することで地域医療にも貢献しています。

院内外からの画像診断におけるコンサルトに対応し、院内では、他科の医師を交えての合同画像カンファレンスを定期的に行うことにより画像診断の質のさらなる向上を図っています。今後も地域の皆様の期待に十分応えることができるよう、努力を続けていきたいと思っております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
顧問	坂本 力	日本消化器がん検診学会認定医 マンモグラフィ読影認定医
副院長 放射線科部長	田中 豊彦	日本医学放射線学会放射線診断 専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 腹部救急認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 乳腺超音波読影認定医
非常勤医師	玄正 祥代	日本医学放射線学会放射線科専 門医・放射線診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医 (評価 AS) 乳がん検診超音波読影認定医 (評価 A) 肺がん CT 検診認定医 産業医学ディプロマ 日本医師会認定産業医 医療経営士 2 級

3.診療実績

	撮影件数（紹介件数）	読影件数
一般撮影	13,254 (0)	8,035
CT	5,174 (658)	5,165
MRI	3,088 (1,113)	3,088
透視検査	825 (0)	721
マンモグラフィ	1,134 (0)	984
骨密度検査	1,028 (3)	0
合計	24,503 (1,774)	17,993

麻酔科

1.概要

手術室2室での麻酔業務を中心に、周術期管理に携わっております。麻酔科術前外来も週3日午前中に特殊外来という形で予約を受けております。高齢者の多い地域の実状としましては、術前の体調管理や禁煙などの生活習慣改善の指導、歯牙の異状には歯科医院のご紹介なども行っております。

さらに、新型コロナウイルス感染対策でマスクや手袋やガウンだけでなく人工呼吸回路などの物資の供給不足に難渋した1年でしたが、手術室スタッフも皆元気で無事に乗り越えてまいりました。

これからも病院内外の皆様からの御協力を得て、より安全な手術治療に貢献できるよう設備・技術を高めていく所存です。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	福島 弘子	日本麻酔科学会指導医・専門医 麻酔科標榜医 医学博士(麻酔科学) 第1回京都大学附属病院緩和ケア研修会終了 第5回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会終了
非常勤医師	上林 昭景	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会指導医・認定医・専門医
非常勤医師	高畑 一貴	麻酔科標榜医

3.診療実績

◆ 麻酔件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全身麻酔	29	25	24	24	23	30	32	26	32	29	37	29	340
脊椎麻酔	1	3	0	0	1	1	3	1	3	3	0	0	16
局所麻酔	19	8	19	11	11	21	19	14	11	16	14	12	175
合計	49	36	43	35	35	52	54	41	46	48	51	41	531

血液浄化センター

1.概要

2011年5月に、広々とした室内に透析装置を計24台完備した、血液浄化センターを開設いたしました。現在は、26台に増床しOnline-HDFにも対応しています。

通院透析の患者さんに対しては、車椅子対応の無料送迎を行っており、月に一度主治医による透析外来にてご家族とともに検査結果や病状の説明を受けていただいております。同時に管理栄養士による栄養指導も行っています。ADL低下や病状進行により通院透析が困難となった場合、長期入院透析にも対応しております。

内シャントの狭窄・閉塞に対しては、心臓血管外科医による経皮的拡張術・新規シャント作成を当院にて行っております。

透析患者さんには心血管合併症が高率に発症しますが、循環器内科医師・心臓血管外科医師が担当していることから、早期に適切な診断・加療が行えます。

また、腎臓内科医師と連携し、新規導入も行っております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
心臓血管外科部長 血液浄化センター長	西 崇男	
副院長 外科部長	神谷 純広	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

3.診療実績

- ◆ 外来透析回数 9,653回
- ◆ 入院透析回数 2,364回
- ◆ 透析回数・検査等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
透析 総回数	979	980	967	1,069	1,021	1,022	1,051	960	1,015	991	919	1,043	12,017
下肢末梢 動脈疾患 指導管理 加算	63	72	75	75	59	67	67	73	55	69	74	75	824

健診センター

1.概要

当センターは病気の早期発見、早期治療、生活習慣病の改善、予防を目標に、年をとっても健康に生活出来る事を目指し健診を行っています。

現在行っているのは人間ドック、脳ドック、心臓ドック、乳房MRIドック、生活習慣病健診、特定健診、基本健診、雇用時健診、個人健診です。

癌健診では胃癌（内視鏡検査、胃透視）、大腸癌（便潜血検査、大腸内視鏡検査）、乳癌（マンモグラフィ、乳房超音波検査、乳癌リスク検査）、子宮癌（子宮頸部細胞診、経膣超音波検査）、膵癌（腹部超音波検査、膵癌リスク検査）等の検査を行っています。

生活習慣病については健診終了後、医師より結果を説明し改善点のアドバイスや治療が必要な方には受診を勧めています。また、管理栄養士による保健指導も行っています。

健康増進・健康維持を目的とし、市町村の検診としてがん検診（胃、大腸、肺、乳房、子宮）、骨粗鬆症検診、結核検診、肝炎ウイルス検診、ピロリ菌検診を行っています。来年度から内視鏡による胃がん検診や40歳以下の基本健診も実施しますので受診されることをお勧めします。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
センター長	上田 浩史	日本医師会認定産業医

◆ 他スタッフ

臨床検査技師（兼任） 1名

事務員 5名

3.診療実績

健診項目別受診者数

健診項目	2018年	2019年	2020年
企業健診	848	1,089	1,186
生活習慣病予防健診	874	938	1,006
企業ドック	106	114	127
個人ドック	84	84	82
個人健診	177	249	270
特定健診	701	745	706
協会子宮がん	140	143	143
協会乳がん	97	85	115
合計	3,027	3,447	3,635

市町村検診受診者数

検診項目	2018年	2019年	2020年
肝炎ウイルス	24	43	90
結核	418	436	388
大腸がん	199	289	301
乳がん	388	700	692
子宮がん	236	425	421
ピロリ菌検査	9	5	6
胃がん（胃透視）	115	175	184
肺がん	121	240	225
骨粗鬆症	93	85	53
合計	1,603	2,398	2,360

訪問診療

1.概要

超高齢社会が進む中で、加齢や病気のために、通院が難しくなっておられる方が年々増加しています。がんの終末期や、ALS、慢性心不全、慢性呼吸不全、腎不全の終末期の方なども積極的に診させていただきます。通院が難しい場合でも、医師による診療を在宅で安心して受けて頂けるために訪問診療があります。訪問診療では、ご自宅に定期的に訪問して体調管理や苦痛症状の緩和に努めています。また、急な発熱や体調変化時は往診での対応もしております。甲南病院からは、現在3名の医師が訪問診療を行っております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
理事長	古倉 みのり	日本医師会認定産業医 認知症サポート医
医員	米村 岳尚	
非常勤医師	後藤 裕文	日本泌尿器科学会専門医・指導医

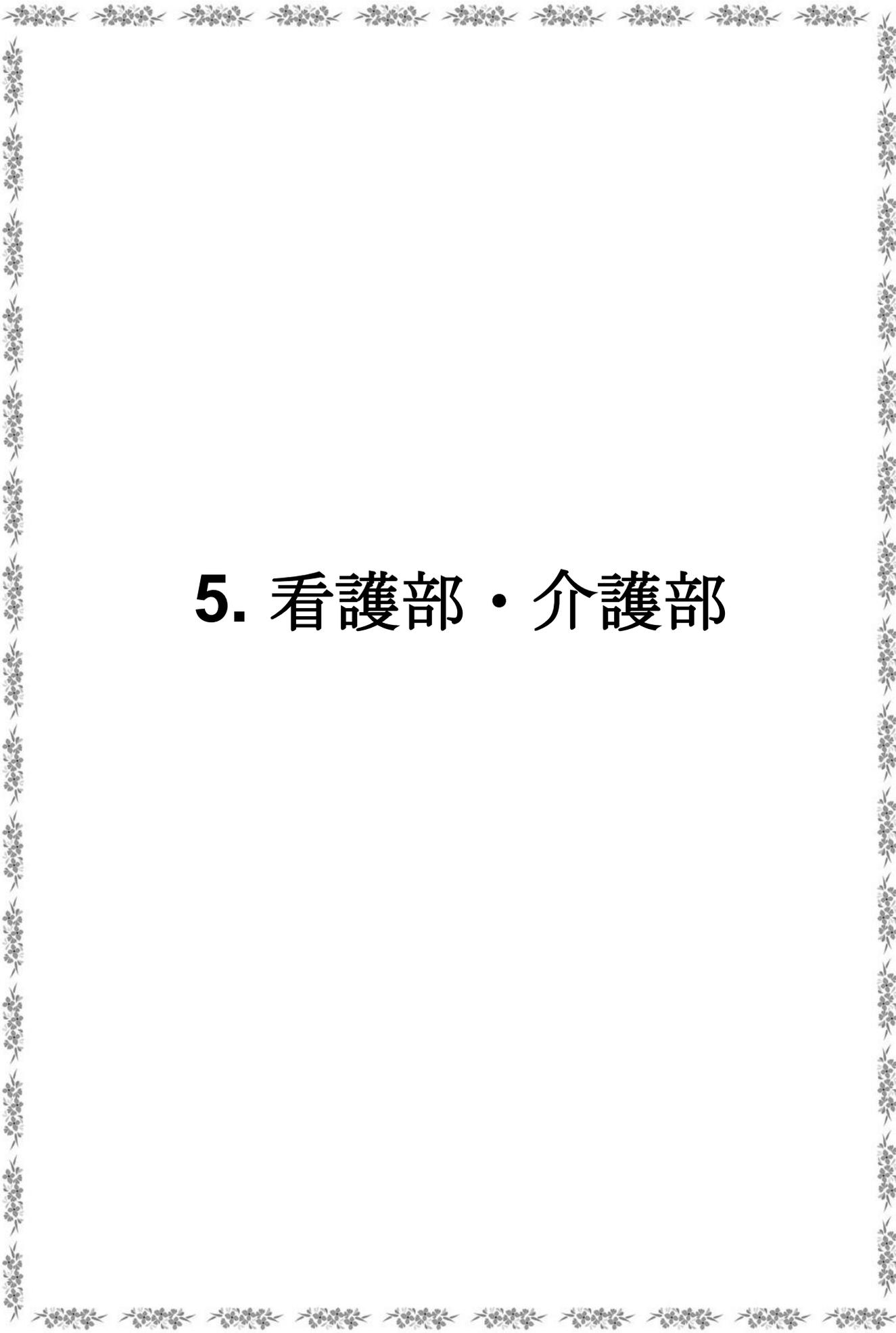
他スタッフ

看護師 1名

事務員 1名

3.診療実績

- ◆ 患者数 1,073名
- ◆ 看とり件数 12名

A decorative border with a repeating floral pattern surrounds the page content.

5. 看護部・介護部

看護部

1.概要

2020年度の看護部は、「高齢者の特徴や患者のニーズの把握とチームで共有して信頼される看護、地域医療を担う組織の看護師として在宅での生活を見越した看護目標の立案、院内職員とのチーム医療・院外施設との連携したチームケアの確立」を看護部目標として前年度より継続して計画を立てていました。

ところが未曾有の災禍である新型コロナウイルス感染症が当初の想像以上に猛威を振るい、感染防止対策の新たな実践の強化、新型コロナウイルス持込み防止のため面会禁止によるいろいろなしくみの変更が生じた一年間でした。発熱外来の開設や現在も進行中の新型コロナ対策ですが、院内クラスターを発生させない防止対策を当初より団結して行っています。施設外での活動はほぼ諦め、院内活動かつ三密防止中の活動での自己研鑽に移行し、世の中の不安が患者さんへの不安に比例しないように、精いっぱい不安の軽減に努めました。

日々、不安定なコロナ情勢の中で、看護師の気配りや配慮、看護力で、療養環境の整備と患者さんの安心安全な医療の提供のために、努力を続けています。

2.スタッフ構成

役職	名前		役職	名前
看護部長	廣瀬 京子		師長	佐藤 春加
師長	澤 友美		師長	山中 曜子
師長	杉浦 和美		師長	勝谷 真由美
師長	甲川 志津子		副師長	荒川 江美
副師長	久保 美穂子		主任	宇野 田恵子
主任	西岡 照美		主任	杉本 緑
主任	橘田 千幸		主任	成美 由季子
主任	川合 祥代		主任	沢井 美由紀
副主任	長野 亜美		副主任	辻 千尋
副主任	久保 奈麻美		副主任	鵜飼 洋平

3.活動実績

【病棟機能の見直し】

前年度に包括ケア病棟へ機能転換した病棟以外に、10月には別病棟にも包括ケア病床を30床機能転換しました。一般病棟としての機能を維持しながら手術等の治療も積極的に受け入れ、在宅復帰に向けての支援を展開しています。

【eラーニングの推進】

院外研修や学術活動もほぼ出来なかったため、以前から導入していたeラーニングの受講を推進しました。毎月、各看護単位が自部署に合った受講課題を提示し1か月間の受講率を院内に明示して学習意欲を高める努力をしました。

【災害対策】

院内の災害チームに師長を4名投入し、患者さんの一番身近な部署として災害時の看護師の行動を確立するために学びを深めました。

【新型コロナウイルス感染症対策】

院内の感染防止対策の主導権を握り、感染対策委員長と協働して主体となって活動をしました。情報が常に変化し、院内対策も日々進歩していくために、昼夜を問わずアンテナ高く活動しました。

【看護部介護部専従の採用担当者の設置】

安定した人材確保のために専従の担当者を配置しました。看護大学や看護師養成所、介護士養成学校に細やかな訪問を行い、情報提供や実習場所の提供に努力しました。Web訪問も積極的に行い、当院の情報発信にも努めています。

【看護体験実施】

新型コロナウイルスが次世代に悪影響しないように看護体験の場所を提供し、将来の看護師人員確保に努力しました。「看護師になりたい」という意欲を持つ中高生を増やしたいと思っています。

【看護部公式ラインの開設】

施設間の移動や広報活動を自粛したため、当院の情報公開をSNSを通じて行いました。新人看護師教育の状況やいろいろな部署の紹介を公式ラインを通じて拡散しました。

【入院患者さんのオンライン面会の実施】

基礎疾患を持つ入院患者さんへの新型コロナウイルスの感染リスクを抑えるためにオンライン面会を実施しました。面会禁止による患者さんご家族のつながりを無くさないように、患者さんの不安が大きくなるないように多職種で実践しています。

【感染対策の強化】

他の専門職への手袋着脱指導、PPE 着脱指導を率先して行い、院内アウトブレイクや感染の媒介にならないように指導を徹底し、医療チームとして助け合いました。

【看護部委員会活動】

看護記録委員会	月 1 回
看護教育委員会	月 2 回
看護手順委員会	月 1 回
薬剤管理	月 1 回 (主任)
物品管理	月 1 回 (副主任)

【実習生受入状況】

期間	学校名	人数
11 月 24 日～12 月 8 日	滋賀県堅田看護専門学校	4 名

4.学術・研修活動

1) 学術発表

◆ 院外活動

開催日時	研修会	開催地	発表者
中止	日本医療マネジメント学会 第 18 回京滋支部学術集会	京都府	

2) 研修活動

◆ 院外研修

開催日	研修会	開催地	参加者
8 月 6 日	精神科疾患の看護支援を学ぶ	滋賀県立精神科医療センター	1 名
8 月 23 日	看護管理者研修	Web 開催	1 名
8 月 28 日	今年度の看護必要度指導者資格取得	Web 開催	1 名
9 月 7 日	マネジメント学会の看護研究を進めていくために	Web 開催	1 名
9 月 12 日	災害看護研修 看護管理者研修	滋賀県看護協会研修センター	1 名
9 月 17 日 9 月 18 日	看護学校の老年看護の実習	済生会守山市民病院	1 名
9 月 17 日 ～9 月 19 日	認知症対応力向上研修	滋賀県看護協会研修センター	1 名
9 月 21 日	今年度看護必要度指導者資格取得	Web 開催	1 名
9 月 29 日	新人看護職としての振り返り 頑張りや悩みを共有し今後の活力とする	滋賀県看護協会研修センター	3 名

9月30日	口腔機能を学ぼう ～安全に食べられる口作り～	滋賀県看護協会研修センター	2名
10月1日 ～10月19日 (4日間)	新人看護職員研修、教育担当者研修	滋賀県看護協会研修センター	1名
10月3日	看護実践が見える看護記録	滋賀県看護協会研修センター	2名
10月14日 ～10月15日 (2日間)	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	滋賀県看護協会研修センター	1名
10月23日	マネージメントラダーに基づく 研修、看護サービスの質保証 ～クオリティーマネージメント～	滋賀県看護協会研修センター	2名
10月26日 ～11月16日 (5日間)	新人教育責任者として来年度役割 担う	滋賀県看護協会研修センター	1名
11月6日	地域包括ケア時代の継続看護 在宅療養を見据えた連携と協議	滋賀県看護協会研修センター	2名
11月10日	がん患者が社会生活を送る時に必要 な支援を知る	滋賀県看護協会研修センター	3名
11月11日	看護補助者活用のための看護管理者 研修	滋賀県看護協会研修センター	1名
11月19日	看護倫理～もやもやと苦手を CLEARしてチームで前進！～	滋賀県看護協会研修センター	1名
11月26日 11月27日	アセスメント	滋賀県看護協会研修センター	3名
11月27日	ラダー別研修	滋賀県看護協会研修センター	1名
12月1日	薬剤師の病棟配置の工夫を学び当院 の業務につなげる	日野記念病院	1名
12月2日	院内感染防止対策	Web開催	1名
12月11日	災害看護フォローアップ研修	滋賀県看護協会研修センター	1名
12月13日	臨床倫理とナラティブ	滋賀県看護協会研修センター	1名
12月16日	糖尿病とともに生きる患者の生活の 質～患者の意向を尊重した看護～	滋賀県看護協会研修センター	2名
1月25日	新型コロナウイルス感染症対策研修	滋賀県看護協会研修センター	2名
1月27日	新人看護職員研修責任者・教育担当 者フォローアップ研修	滋賀県看護協会研修センター	1名

介護部

1.概要

2020年度の介護部は「ノーリフトケアの検討を行い、患者さん、スタッフが安心安全な環境の中で質の高いケアを行う」を目標に活動を行いましたが、新型コロナウイルスの影響により毎年実施しています介護部主催の行事の中止やボランティアさんの活動を自粛させて頂き、患者さんに季節感を感じて頂く事が難しい一年でした。この経験により感染症に対する知識や意識が高まり、感染予防対策の周知徹底を行い患者さんが安心・安全に過ごして頂けるように取り組みました。

患者さんを守る為、感染予防策を徹底させ、個々に合わせたケアを行い、療養中の不安を少しでも軽減できるように努めます。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
係長	中森 辰徳	介護福祉士
主任	中川 奈美	介護福祉士
主任	中村 幸代	介護福祉士
主任	渡邊 沙代	介護福祉士
主任	土山 健	
副主任	茶谷 五月	介護福祉士

3.活動実績

・介護職初任者研修実習受入状況

期間	学校名	人数
7月15日～7月17日	ユウコム草津校	1名
9月1日～9月30日	ユウコム草津校	1名
12月3日、4日、7日	ユウコム草津校	1名
12月9日～12月11日	ユウコム草津校	1名
2月8日～2月10日	ユウコム草津校	2名

・高校生実習受入状況

期間	学校名	人数
9月14日～9月18日	甲南養護高等学校	1名

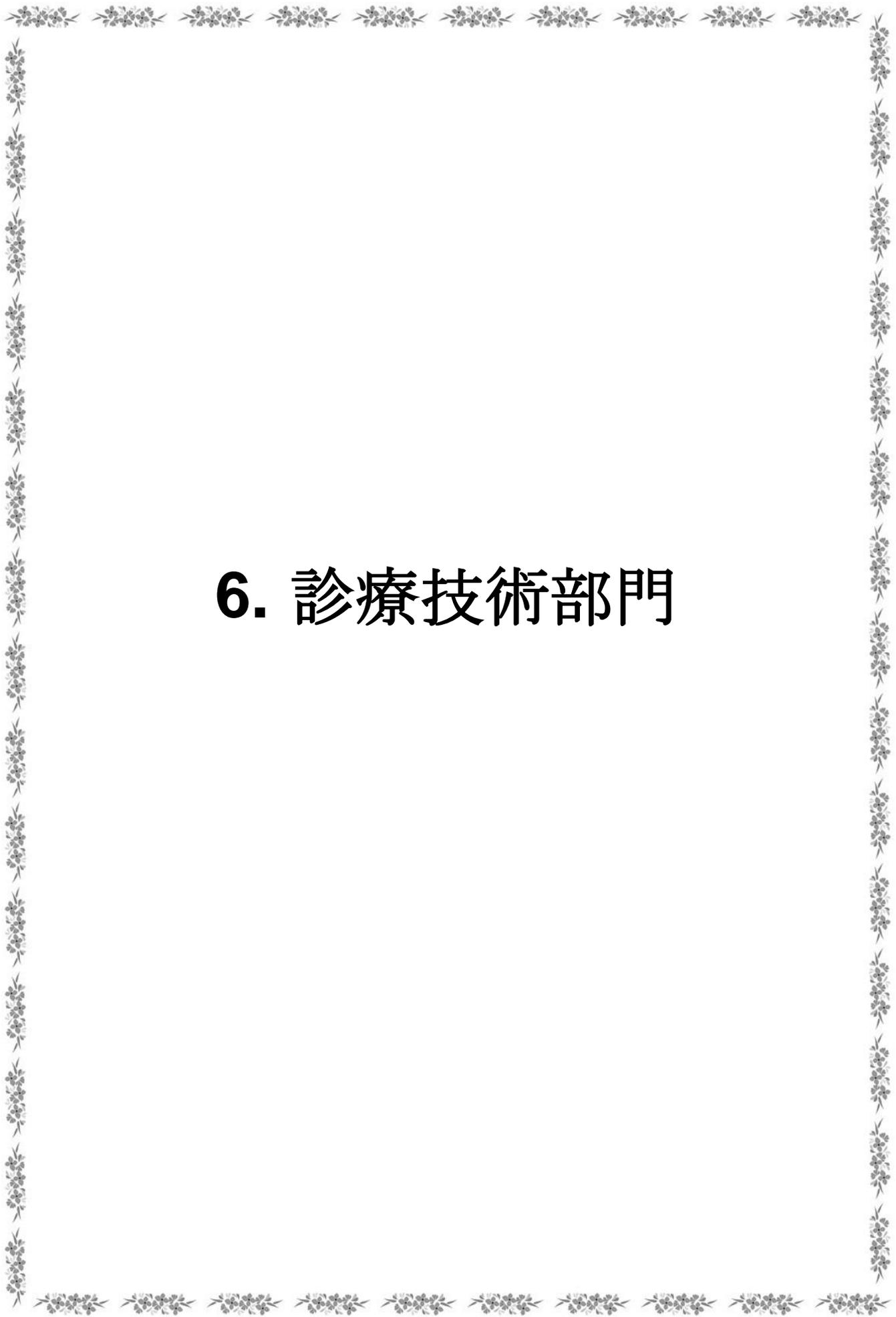
・介護体験開催

開催日	開催名	参加人数
11月15日	介護の日 介護体験	7名

4.学術・研修活動

・研修活動（院内）

開催日	研修目標	研修内容	参加人数
5月11日	組織について学ぶ（新入職者のみ）	病院内での介護部の組織・役割について	7名
6月11日 6月17日 6月20日 6月26日	医療安全活動の流れと書類について学ぶ	よく分かる個人情報の基本と取り扱い方	47名
5月13日 5月16日	新興感染症から身を守る為に感染指定医療機関でない施設で出来る事を学ぶ	病院における新型コロナウイルス感染症の対応と課題	40名
8月25日 8月26日 8月27日 8月28日	接遇について学ぶ	接遇・マナーの基本 ～患者・家族への関わり方～	42名
11月24日 11月25日 11月26日 11月27日	身体拘束について学ぶ	転倒転落へのあせらない対処法 ～要因別対応のしかた～	44名
7月14日 7月17日	基礎的な知識と技術の向上	移動補助具について (移座えもんシート)	44名
2月15日 2月16日 2月17日 2月18日 2月19日	守秘義務についての学習	守秘義務、個人情報の保護について	47名

A decorative border consisting of repeating floral motifs, including small flowers and leaves, arranged in a rectangular frame around the page content.

6. 診療技術部門

薬剤部

1.概要

薬剤部は「地域の皆様が安心・信頼・満足を得られる医薬品情報を提供する」という理念を基に、薬のリスクマネージャーとして医薬品の適正使用に努め、安全で高度な医療を提供することで患者さんが安心して服薬できる環境作りを目指しています。

◆ 薬剤管理指導業務・病棟薬剤業務

「病棟薬剤業務実施加算」の算定をしており、入院患者さんへ安全に薬を届けるため、また配薬に関わる看護師に対する負担軽減の一環として配薬カートによる医薬品管理をしています。またポリファーマシー対策の一環として「薬剤総合調整加算」の算定もしており、多職種での病棟カンファレンスや病棟担当薬剤師での集中的なカンファレンス等で減薬が可能な患者さんについて話し合い、患者さんの服用薬剤を減らすことで、残薬調整や過剰服用防止による薬剤費・医療費の削減、多剤服用による有害事象の発現を抑制することに繋がっています。

入院患者さんへの積極的な関わりを進めるために各病棟に病棟担当薬剤師を配置しており、2021年1月より急性期病棟1病棟で薬剤師の病棟常駐を開始しました。より身近な場所で患者さんと接することができ、状態把握や服薬指導に力を入れることができています。そのおかげもあり、初回指導率は月平均98.3%となりました。また医師の処方オーダーの代行依頼や、看護師の配薬業務をサポートするといった業務のタスクシフト・タスクシェアすることができています。

病棟担当薬剤師と医薬品情報担当薬剤師とのカンファレンスを定期的に行い、また多職種ミーティングに参加して情報を共有・発信することで、患者さんやご家族のご希望にできる限り沿った薬剤管理を提案・実施することができました。

◆ チーム医療への参加

ICTに参加し、抗菌薬の種類ごとの使用量の状況を検証して適正使用を推進し、TDM解析による抗菌薬の適正投与量の設計、院内ラウンド等も行っています。またNSTや褥瘡対策チームにも参加しており、TPN・PPN、経腸栄養などについて薬学的アドバイスをを行いました。

◆ 学術活動

甲賀市及び湖南市を中心とした地域における漢方医薬の知識向上のために「甲賀湖南漢方医学研修会」を開催しています。各医療機関の医師や薬剤師などの医療従事者が集まり連携することで、地域医療の発展に寄与できるものと考えています。

◆ 地域貢献

当院は地域の中学生・高校生の職業体験を受け入れており、病院薬剤師の業務を知ってもらえるよう協力しています。また、糖尿病教室に薬剤師が参加し、地域の方々の健康増進と医薬品の適正使用促進に貢献しています。

2. スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	渡邊 優輔	日病薬生涯研修認定薬剤師
主任	大原 久詞	日病薬病院薬学認定薬剤師

◆ 他スタッフ

薬剤師 7名

事務職員 4名

3. 診療実績

◆ 外来処方箋枚数

	2018年度	2019年度	2020年度
外来処方箋枚数	38,463	39,933	38,155
院外処方箋枚数	35,321	36,737	35,199
院内処方箋枚数	3,142	3,196	2,956
院外処方箋発行率 (%)	91.8	91.9	92.2
外来注射箋枚数	5,262	6,880	7,563

◆ 入院処方箋枚数

	2018年度	2019年度	2020年度
入院処方箋枚数	16,969	18,311	18,338
入院注射箋枚数	27,816	34,372	35,216

◆ 指導件数

	2018年度	2019年度	2020年度
外来指導件数	3,102	2,681	2,728
入院指導件数	4,493	4,068	4,412
薬剤管理指導料算定件数	2,582	1,867	1,869
退院時指導件数	842	715	467

※2020年度中に地域包括病床 30床の増床あり。

4. 学術・研修活動

1) 院外研修、勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
8月27日	滋賀県病院薬剤師会研修会	Web開催	1名
9月2日	滋賀県病院薬剤師会研修会	Web開催	1名
9月10日	滋賀県病院薬剤師会研修会	Web開催	1名
9月12日	甲賀湖南漢方医学研修会（運営）	Web開催	2名

10月 1日	滋賀県循環器疾患講演会	Web 開催	1名
10月 24日	インフルエンザ治療 UP DATE in 滋賀	Web 開催	1名
11月 5日	不眠症治療 Web セミナー	Web 開催	1名
11月 13日	感染対策 Web セミナー コロナ禍に活かす感染対策の基本	Web 開催	1名
11月 28日	滋賀県病院薬剤師会 感染制御委員会研究会	Web 開催	1名
12月 18日	日病薬医薬品安全管理責任者等講習会	Web 開催	1名
2月 4日	滋賀県薬業連携研修会	Web 開催	1名
2月 16日	甲賀湖南漢方医学研修会（運営）	Web 開催	2名
3月 2日	抗がん薬曝露対策 Web セミナー	Web 開催	1名

2) 公開セミナー、その他

開催日	会名	開催地	発表者
12月 14日	糖尿病教室「処方ができるお薬のしくみ」	甲南病院	山口
1月 25日	糖尿病教室「いろいろな注射薬～使い方について～」	甲南病院	日比

臨床検査部

1.概要

2020年度は4月に輸血分析装置を導入しました。輸血検査が増加傾向のため、この導入によって作業効率が向上し、不規則抗体検出感度も上昇しました。装置導入によりできた空き時間（午前中）に神経伝導検査を実施しました。また、2021年2月に超音波装置を増設し、検査精度向上と患者さん待ち時間短縮に寄与しています。

検体検査では、4月からHIVの院内測定を開始しました。現在は至急の検体のみ院内測定を行っています。11月からコロナ抗原定量検査の院内測定を開始しました。日々の内部精度管理の継続により、常時精度の高い検査を提供できるよう努めました。外部精度管理では今年度も日本臨床衛生検査技師会精度管理調査、滋賀県臨床検査精度管理調査に参加し高評価を頂きました。

今年度は、コロナ禍で外部研修や学会が開催されない中、WEB研修を利用し知識や技術のレベルアップに努めました。今後も引き続き皆がレベルアップできるよう努めてまいります。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	中井 典子	超音波検査士（消化器） 日本糖尿病療養指導士
主任（健診センター課長兼任）	重田 美千代	抗酸菌エキスパート
主任	大原 麻美	
主任	森地 由美	

◆ 他スタッフ

臨床検査技師 常勤 7名
非常勤 1名

◆ 他資格

医療情報技師
認定心電検査技師
診療情報管理士

3.診療実績

【生理検査】

	2018年度	2019年度	2020年度
超音波検査	3,115件	3,574件	3,628件
ABI検査	531件	640件	657件
FMD検査	28件	16件	23件
肺機能検査	636件	767件	533件
心電図検査	5,395件	5,803件	5,719件
神経伝導検査	261件	158件	222件
脳波検査	14件	14件	12件

眼底検査	533 件	620 件	572 件
眼圧検査	314 件	364 件	380 件

【検体検査】

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
生化学検査	431,776 件	491,267 件	487,011 件
輸血検査	1,320 件	1,694 件	1,500 件
血液検査	40,397 件	46,048 件	45,726 件
尿検査	12,316 件	13,071 件	12,540 件
免疫検査	18,839 件	20,051 件	19,263 件
POCT	2,679 件	2,524 件	1,089 件
凝固検査	7,552 件	9,202 件	9,391 件

4.学術・研修活動

1) 院外研修・勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
8 月 1 日	滋臨技 第 1 回コロナウイルス基礎研修会	滋賀県	1 名
8 月 6 日	滋臨技 臨床生理部門研修会 心電図	Web 開催	3 名
8 月 22 日	滋臨技 第 2 回 CoV 検体採取・PCR 実地研修	滋賀県	1 名
8 月 29 日	滋臨技 第 3 回 CoV PCR 実地研修	滋賀県	1 名
10 月 8 日	滋臨技 臨床生理部門研修会 腹部エコー	滋賀県	1 名
10 月 17 日	キャノン 腹部エコー	Web 開催	5 名
11 月 7 日	滋臨技 臨床免疫化学検査部門研修会	滋賀県	1 名
11 月 20 日	滋臨技 臨床生理部門研修会 深部静脈血栓	滋賀県	3 名
12 月 2 日	病院協会 院内感染防止対策研修会	Web 開催	1 名
1 月 22 日	京都循環器検査研究会 心エコー	Web 開催	1 名
2 月 3 日	厚労省 医療機関の働き方改革セミナー	Web 開催	1 名
2 月 19 日	滋臨技 臨床生理部門研修会 心エコー	Web 開催	1 名
2 月 26 日	京都循環器検査研究会 心エコー、腎動脈	Web 開催	3 名
2 月 27 日	滋臨技 令和 2 年度滋賀県臨床検査精度管理報告会	Web 開催	2 名
3 月 11 日	第 3 回 BRIGE Forum in 甲南	Web 開催	1 名
3 月 13 日	滋賀県輸血療法委員会 令和 2 年度滋賀県血液製剤適正使用研修会	Web 開催	1 名
3 月 14 日	滋臨技 第 43 回滋賀県医学検査学会	Web 開催	1 名
3 月 15 日	日立 腹部エコーWeb セミナー	Web 開催	6 名

2) 糖尿病教室

開催日時	内容	開催地	発表者
2 月 8 日	糖尿病合併症の検査について	甲南病院	加地

3) 部内勉強会

開催月	内容	講師
4月	ペースメーカーECG	加地
5月	SMBG	中井
6月	リスク検査	重田
7月	不規則抗体検査	バイオラッド
8月	ABI・TBI	大原
9月	グローバル試薬	ロッシュ
10月	コロナウイルス抗原検査	富士レビオ

放射線部

1.概要

2020年度の放射線部は、8月に循環器用透視撮影装置の更新を行いました。従来の装置に比べ、より高精細・高分解能な画像を低被ばく線量で透視撮影が出来るようになりました。被ばく低減については、他のモダリティでも積極的に取り組み、より少ない線量で検査を行えるように日々努力しています。

検査実績に関しては、新型コロナウイルスの影響もありCT、MRIの検査数が前年度に比べ減少しましたが、MRIに関しては開業医の先生方から前年を超えるオーダーを頂きました。また骨密度検査においては様々な診療科よりオーダーを頂き、前年度の検査数より大幅に増加しました。

学術・研修活動の面では、昨年度に比べ学会・勉強会に参加することが出来ませんでした。WEBを使った勉強会等も増えているので、来年度は今まであまり参加出来なかった勉強会等にも積極的に参加し、知識・技術の習得に努め、質の高い検査を行い地域医療に貢献出来るように努力していきます。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	大原 久弥	磁気共鳴専門技術者 医療情報技師 シニア放射線技師 放射線管理士 放射線機器管理士 医療画像情報精度管理士
主任	中嶋 高明	胃がん検診専門技師 胃がんX線検診 技術部門B資格 胃がんX線検診 読影部門B資格 シニア放射線技師
主任	小崎 一雄	X線CT認定技師 肺がんCT検診認定技師 シニア放射線技師

◆ 他スタッフ

診療放射線技師 3名

事務職員 1名

◆ 他資格

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 2名

日放技 基礎技術 X線CT検査

日放技 基礎技術 MRI検査

日放技 基礎技術 一般撮影

3.診療実績

検査項目	2018年度	2019年度	2020年度
一般撮影	12,328件	13,678件	13,254件
CT	5,111件	5,408件	5,174件
MRI	3,078件	3,240件	3,088件
透視検査	705件	840件	825件
マンモグラフィ	778件	1,169件	1,134件
骨密度検査	820件	845件	1,028件

4.学術・研修活動

1) 院外研修・勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
5月31日	滋放技総会学術発表会・総会	滋賀県	1名
9月5日	第16回関西キャノンCTユーザー会	Web開催	1名
9月11日	第48回日本磁気共鳴医学会	Web開催	1名
10月3日	Gyro Cup2020	Web開催	1名
10月15日	第27回関西GECT研究会	Web開催	1名
10月18日	胃がん検診専門研修会	Web開催	1名
11月17日	肺がんCT検診認定機構 第24回更新講習会	Web開催	1名
12月2日	滋放技MR研究会	Web開催	1名
12月14日	バイエル薬品Webカンファレンス	Web開催	1名
12月17日	滋放技総会学術研修会	Web開催	1名
1月28日	フィリップス画像診断セミナー	Web開催	1名
2月3日	滋放技MR研究会	Web開催	1名
2月20日	日本消化器がん検診学会 NPO 精管構 近畿支部講習会	Web開催	1名
2月17日	第130回高速X線CT研究会	Web開催	1名
2月26日	滋賀MR研究会	Web開催	1名
3月6日	消化器（胃）がん検診従事者講習会	Web開催	1名
3月14日	MR安全管理講習	Web開催	1名
3月11日	BRIDGE Forum in 甲南	Web開催	5名
3月18日	Cyber DECT 2 nd Conference	Web開催	1名
3月24日	ゲルベジヤパンWebセミナー	Web開催	1名
3月31日	第3回CT Colonography Webinar	Web開催	2名

リハビリテーション部

1.概要

当院リハビリテーション部は、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、脳血管リハビリテーション料（Ⅰ）、廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）、心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）、がん患者リハビリテーション料の基準を有しております。一般病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟の入院患者さんをはじめ、外来リハビリテーション、外来心臓リハビリテーションも実施しており、急性期から維持期まで多岐に渡りリハビリテーションを実施しております。

当院リハビリテーション部では、安心、安全に自宅に退院していただけるよう関係者を含む他職種でのカンファレンスや退院前自宅訪問を積極的に実施し、患者さんだけでなくご家族の退院後の生活における不安を解決できるよう尽力しております。また、リハビリテーションの質の向上のために定期的な勉強会や症例検討会を実施し、より患者さんに満足していただけるリハビリテーションを提供できるように努めております。

2020年度はリハビリ室を新增築棟の2階へ移転しました。今まで別々のフロアであったリハビリ室と心臓リハビリ室が同じフロアとなり、より多くの方々に利用していただける空間へと生まれ変わりました。新しいリハビリ室は以前よりも広くなっただけでなく、窓の多い開放的な空間となっており、患者さんにとってより良い環境でのリハビリテーションの提供が可能となったと思っております。さらに、病棟ごとでのチーム制を導入するなど部署として新たな試みも行いました。今後もハード面、ソフト面の両方から患者さんにとってより良い環境づくりに尽力して参ります。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	玉木 義規	作業療法士 畿央大学大学院 健康科学研究科 修士課程修了
主任	杉田 裕市	理学療法士 心臓リハビリテーション指導士
主任	滝島 勇太	理学療法士 認定理学療法士（呼吸） 呼吸療法認定士 滋賀県糖尿病療養指導士

◆ 他スタッフ

理学療法士 18名（5名は訪問リハビリテーション事業所と兼任）

作業療法士 6名（1名は訪問リハビリテーション事業所と兼任）

言語聴覚士 2名

事務職員 2名

◆ 他資格

- がんのリハビリテーション研修会 修了者 8名
- 臨床実習指導者講習 修了者 3名
- 呼吸療法認定士 1名
- 滋賀県糖尿病療養指導士 2名
- 福祉住環境コーディネーター2級 3名

3.診療実績

リハビリテーション実施人数 (合計実人数)

入院	2019年度	2020年度
運動器	473名	506名
脳血管	133名	141名
廃用症候群	163名	181名
心大血管	52名	41名
がん	37名	30名

外来	2019年度	2020年度
運動器	435名	361名
脳血管	27名	18名
廃用症候群	2名	4名
心大血管	20名	12名

4.実習生受入状況

期間	学校名	人数
9月7日～9月18日	滋賀医療技術専門学校 作業療法学科	1名
9月7日～9月19日	滋賀医療技術専門学校 理学療法学科	1名
10月5日～10月16日	滋賀医療技術専門学校 作業療法学科	1名
1月18日～2月12日	京都橘大学 理学療法学科	1名
2月8日～3月5日	京都医健専門学校 理学療法学科	1名
2月15日～2月9日	京都橘大学 理学療法学科	1名
3月1日～3月3日	京都医健専門学校 作業療法学科	1名
3月8日～3月12日	滋賀医療技術専門学校 理学療法学科	1名

5.学術・研修活動

1) 院外研修・勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
5月24日	令和2年度 地域リハビリテーション人材育成研修フォローアップ研修	Web開催	1名
7月10日	滋賀県POS合同研修会 COVID-19 第2波に備えてセラピストが知っておくべき病態と感染対策	Web開催	1名
9月21日 ～9月22日	第17回呼吸ケアカンファレンス	Web開催	1名
11月6日	第9回滋賀心臓リハビリテーション研究会	Web開催	1名
11月21日	第12回高知心臓血管疾患リハビリテーション研究会	Web開催	1名
12月4日	第14回北摂心臓リハビリテーション研修会	Web開催	1名
12月6日	令和2年度内部障害研究会 第1回定例Web研修会	Web開催	1名
12月15日	第12回大山心臓リハビリテーション研究会	Web開催	1名
1月17日	藤田リハADL研修会 (FIMを中心に) 一般・初心者コース	Web開催	1名
2月5日	令和2年度 POS 甲賀ブロック人材育成研修	Web開催	3名
2月12日	令和2年度 甲賀圏域高次脳機能障害連絡調整会議研修会	Web開催	1名
3月21日	日本地域包括ケア学会 第2回大会	Web開催	1名

6.論文・著書等

1) 原著論文

○Tamaki Y, Nobusako S, Takamura Y, Miyawaki Y, Terada M, and Morioka S. Effects of tool novelty and action demands on gaze searching during tool observation. *Frontiers in Psychology*. 2020; 11: 587270.

○木川田雅子, 湯浅美琴, 玉木義規, 菊池大一. 音韻検索に過剰な注意を向ける伝導失語症例における視覚認知課題の有効性. *認知神経リハビリテーションジャーナル*. 2021; 20: 69-75.

2) 書籍

○佐藤公治, 田中彰吾, 篠原和子, 本田慎一郎, 玉木義規, 中里瑠美子, 三上恭平. 『臨床のなかの物語る力: 高次脳機能障害のリハビリテーション』. 協同医書出版社, 2020.

臨床工学部

1.概要

2020年度の臨床工学部は1名減員となりましたが、カテ室業務と手術室業務を3名でのローテーション制としました。手術室業務では、担当の3名全員が外回り業務を遂行できるようになっています。また、新型コロナウイルス感染症に対して、人工呼吸器や透析センターの感染予防対策を実施しています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長（医療機器安全管理責任者）	伊澤 正志	呼吸療法認定士
主任	速水 左知恵	ACLS プロバイダー

◆ 他スタッフ

臨床工学技士 6名

3.診療実績

血液透析（総数）	12,017 件	カテーテル検査・治療	185 件
血液透析（外来）	9,653 件	ペースメーカー植込み・交換	17 件
血液透析（入院）	2,364 件	ペースメーカー検査	48 件
自己血回収装置	23 件	終夜睡眠ポリグラフィ検査	17 件
In-Body 測定	357 件	管理台数	495 台

4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
4月19日	Japan Endovascular Treatment Conference	Web 開催	1名
7月11日	第1回血液浄化 Web セミナー COVID-19 に対する透析室の感染対策と県内の現状	Web 開催	1名
7月30日	Dialysis Lecture	Web 開催	1名
8月25日	第3回低酸素応答を標的とした腎性貧血治療	Web 開催	1名
9月3日	Otsuka Carnitine Web Seminar	Web 開催	1名
9月14日	新しい透析治療戦略共催セミナー2020	Web 開催	1名
10月21日	透析患者にカルニチン補充はいつまで継続するか？	Web 開催	1名
11月9日	NPPV 臨床使用のコツと NKV-330 の特徴	Web 開催	1名
12月5日	Medtronic Web セミナー 東日本大震災を経験しての当院の災害対策	Web 開催	1名
12月8日	キンダリー透析剤5号発売記念 WEB 講演会	Web 開催	2名

2月 4日	令和2年度医療機器安全基礎講習会(第42回ME技術講習会)	Web開催	1名
3月 11日	第3回BRIDGE Forum in 甲南	Web開催	3名

栄養管理部

1.概要

栄養管理部では、栄養療法を用いて、地域の皆様の栄養状態の改善および、疾病の予防と治癒促進を図れるように日々努力しています。入院・外来栄養指導を積極的に行うことで研修で習得した知識を活用しました。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	巽 紀之	管理栄養士

◆ 他スタッフ

管理栄養士 2名

委託側（日清医療食品㈱）管理栄養士 1名、栄養士 2名、調理師 3名、調理補助 21名

◆ 他資格

滋賀県糖尿病療養指導士

特定保健指導担当者研修修了

調理師免許

3.診療実績

1) 指導件数

指導件数		2018年度	2019年度	2020年度
栄養指導件数		1,023件	1,532件	1,561件
内訳	外来栄養指導	696件	1,013件	1,067件
	入院栄養指導	327件	519件	494件
	糖尿病透析予防	3件	31件	15件
	訪問栄養指導	0件	12件	13件

2) 1日延べ食数および特別食の割合

内容	2018年度	2019年度	2020年度
提供食数	170,429食	157,935食	157,188食
食事療養 I-1（経口）	149,048食	137,672食	138,116食
特別食数	97,579食	94,611食	92,079食
加算	89,340食	91,130食	85,562食
非加算	8,239食	3,481食	6,517食
食事療養 I-2（流動食）	21,381食	20,263食	19,072食
特別食比率	67.4%	66.2%	62.0%

4.実習生受入状況

期間	学校名	人数
11月24日～12月4日	滋賀県立大学人間文化学部管理栄養士課程	2名

5.学術・研修活動

1) 研修会発表・講師

開催日時	研修会	開催地	講師
9月10日	出前DVD講座 「骨粗鬆症について」	滋賀県	増田

2) 糖尿病教室

	開催日	テーマ	講師
前期	第1回 5月11日	糖尿病の食事とは	巽
	第2回 7月13日	脱水・熱中症予防について	増田
	第4回 8月17日	お菓子やジュースについて	國本
	第5回 9月14日	外食の選び方	巽
後期	第1回 11月9日	外食の選び方	増田
	第2回 12月14日	年末年始の食事の摂り方	巽
	第4回 2月8日	ロコモ予防	増田
	第5回 3月8日	糖尿病の食事療法のまとめ	巽

3) 研修活動

開催日時	研修会	開催地	参加人数
7月30日	特定健診・特定保健指導実践者研修	滋賀県	1名
8月5日			
8月27日			

臨床心理士室

1.概要

臨床心理士とは、患者さんが自分らしく生活できるよう心理的援助・予防を行う専門家です。臨床心理士資格のほか、2018年度に国家資格として誕生した公認心理師資格を2名とも取得しています。今年度は1名が年度途中より長期休暇に入ったことで1名で業務を行っていました。

当院では主に心理検査・カウンセリング・認知症検査を行っています。カウンセリングでは心理士による丁寧な問診や包括的なアセスメントを心掛け、必要に応じて他機関・他職種との連携を行いました。認知症検査では患者さんの受診目的に合わせた検査を導入し、質の向上に努めました。また新型コロナウイルスの影響により地域への啓発活動が困難な状況ではありましたが、広報誌きらめき内に『心理士便り』として継続的に情報発信を行いました。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
主任	谷村 梨紗	公認心理師 臨床心理士

◆ 他スタッフ

公認心理師・臨床心理士 1名

3.診療実績

検査項目	2018年度	2019年度	2020年度
外来カウンセリング	92件	346件	384件
病棟カウンセリング	667件	682件	301件
心理検査	41件	85件	50件
認知症検査	366件	348件	287件

4.研修活動

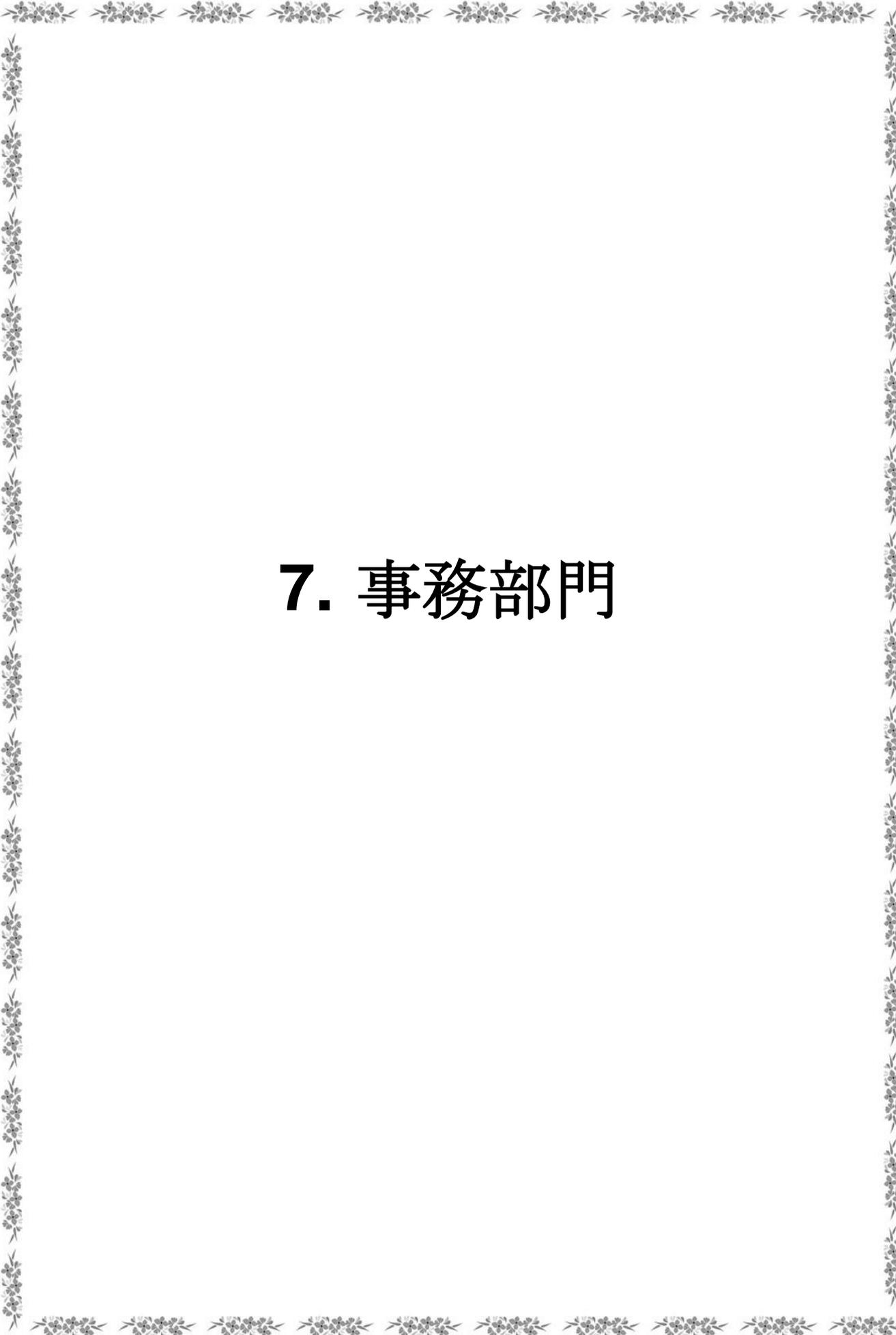
1) 学会・研修会発表・講師

開催日時	研修会	開催地
10月6日	第22回マネジメント学会学術総会 発表『精神科を持たない病院における心理士の役割に関する検討』	京都市
3月8日	糖尿病教室『糖尿病とうつ』	甲南病院

2) 院外研修

開催日時	研修会	開催地	参加人数
11月1日	レジリエンス教育と繊細な子どもたち (HSC) 『HSC/HSPの正しい理解と伸ばし方』	Web開催	1名
11月21日	第20回認知療法・認知行動療法学会	Web開催	1名

11月24日	第20回認知療法・認知行動療法学会ワークショップ 『CBT スキルアップ：認知療法・認知行動療法の基礎固め』 『慢性疾患とアドヒアランスにいかす行動変容の基本』	Web 開催	1名
11月29日	第12回松木邦裕セミナー『精神分析はネガティブ（負）とどのように向き合うのか』	Web 開催	1名
2月21日	2020年度京都文教大学大学院心理臨床事例検討会	Web 開催	1名
2月28日	八事精神分析研究会『抱える環境としての精神分析的臨床 —「危機的」状況下で繋がること—	Web 開催	1名
3月28日	滋賀県臨床心理士会『子どもへの司法面接～事実の調査に向けて』	Web 開催	1名

A decorative border with a repeating floral pattern surrounds the page content.

7. 事務部門

事務部

1.概要

事務部は、①病院経営および経営改善のための調査・分析②経営会議の運営③事務系部署の管理・効率化の推進を軸に病院経営の立案、遂行を行なっています。

診療データの収集、管理を行い経営会議にて報告するとともに日本医療機能評価機構の病院機能評価やTQM活動を通じ病院の質向上に貢献しています。また、保健所の立入検査・厚生局の適時調査等の対応、診療報酬の算定ルールが厳守出来ているか常に確認を行い、健全な病院運営を管理しています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
事務長	岡崎 哲也	診療放射線技師 初級システムアドミニストレータ
事務次長	高阪 裕貴	

3.活動実績

- ◆ 行動計画の管理、進捗確認
- ◆ 経営会議のとりまとめ
- ◆ 補助金申請
- ◆ 施設基準の管理
- ◆ 意見箱（職員用）及び心の声ポスト（患者さん用）の運用
- ◆ 事務系部署の管理、教育

4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
7月 3日	日本医療法人協会 第1回経営講座	Web 開催	1名
12月 13日	難局を乗り越える中小病院の経営戦略	Web 開催	1名

財務規定課

1.概要

財務規定課は、4月からの組織改編により従来の総務・人事課から分離・独立した部署です。主な業務内容は今期に増築が予定されていることから、増築資金調達のため金融機関との交渉窓口としての役割があります。財務に関しては予算の策定と決算事務、財務分析による経営の改善策や病院運営の合理化・効率化を起案しております。また、政府の働き方改革法案の施行にあわせて、同一労働同一賃金の実現に向け就業規則の見直しや各種規程の策定、内容の変更等法整備への対応を行っております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長	増山 善則	SOC（シニアコンプライアンスオフィサー） 正会員証券外務員・内部管理責任者資格 生命保険販売員資格（専門・変額・一般） 損害保険販売員資格（傷害・火災） 金融商品取引資格1級

スタッフは課長の1名のみですが、総務・人事課と随時連携して業務に取り組んでいます。

3.活動実績

- ◆日本生命の確定給付年金制度解散手続き
- ◆同一労働同一賃金実施に伴う就業規則の改正
- ◆増築資金調達のため金融機関3行から借入実行
- ◆新型コロナ対策として運転資金を福祉医療機構から調達
- ◆「新型コロナウイルス感染症対応医療従事者支援制度」に加入（職員の福利厚生制度の充実）
- ◆営業車のリースバック対応とメンテナンスリースの導入
- ◆「中小企業退職金共済制度」から「特定退職金共済制度」へ移換（職員数300人超への対応）
- ◆火災保険料の見直しによる経費の削減
- ◆自動車保険料の見直しによる経費の削減
- ◆医療機器の計画的な更新とCFの確保
- ◆未収金の回収業務改善に伴う「連帯保証人代行制度（スマホス）」導入

総務・人事課

1.概要

総務・人事課は、職員の入職から退職に関わる各種手続きをはじめとした総務業務、経理業務、求人活動から採用、人事考課などの人事業務の主に3つの業務内容からなる部署です。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長	高阪 裕貴	
係長	深田 和也	
係長	上山 真美子	

3.主要な活動実績

期間	活動名	参加・対象人数
4月 1日 ～4月 2日	新入職員オリエンテーション研修	20名
8月 3日	永年勤続表彰式	18名
9月 7日 9月 10日 9月 11日	人権研修	323名

4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
6月 24日	人事考課オンラインセミナー	Web開催	2名

医療安全管理部

1.概要

医療安全管理部では、患者さんやご家族の安全を最優先に考え、日々の診療業務の安全な環境を確保しながら、医療事故防止に向けて、組織横断的に院内の安全管理に取り組んでいます。多角的な視野で病院全体に関わる医療安全対策について検討し活動しています。医療の安全と質の向上に関するスタッフの教育ならびに安全で良質の医療システムの確立を目指しています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
室長	藪下 初代	看護師 医療安全管理者

◆ 他スタッフ（兼）

- 米村 岳尚（医師）
- 安西 健（医事課 課長）
- 大原 久詞（薬剤部 主任）

3.活動実績

【インシデント報告数】

2018年度	2019年度	2020年度
754件	755件	829件

- ・医療安全管理者委員会（13回/年（臨時1回含む））
- ・医療安全委員会（12回/年）
- ・転倒転落ワーキング（8回/年）
- ・薬剤ワーキング（12回/年）
- ・医療機器ワーキング（1回/年）
- ・院内ラウンド（7回/年）
- ・医療安全だよりの発行（3回/年）
- ・インシデント報告の集計、分析
- ・医療安全カンファレンス（1回/週）
- ・衛生委員会（1回/月）
- ・患者サポートカンファレンス（1回/週、書面会議）
- ・インシデント報告書より、情報収集、分析、再発防止策の検討、評価、職員への発信

4.学術・研修活動

1) 院外研修・勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
11月25日	医療安全対策研修会、Web研修会 「高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等による医療について」 「医療安全相談室の運営等について」	滋賀県	1名
12月2日	院内感染防止対策研修会、Web研修 「クラスターの予防と対応の考え方」 「新型コロナウイルス感染症の現状と今後の備えについて」	滋賀県	1名

医事課

1.概要

医事課の主な仕事は窓口で患者さんの負担割合に応じて負担金を徴収することです。また、診療内容に基づいて診療報酬明細書（レセプト）を作成し、社会保険診療報酬支払基金や国民健康保険団体連合会へ請求しています。

医事課は病院の中でも患者さんに接する機会が多い部署の一つです。患者さんに気持ち良く受診していただけるよう常に意識し業務に励んでおります。業務の一環として患者さんが安心して入院していただけるよう高額医療費や福祉医療、指定難病の申請方法なども併せて説明しています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長	安西 健	診療報酬請求事務能力認定試験 救急救命士 ホスピタルコンシェルジュ 3級
係長	中村 尚子	
主任	大角 恭子	診療報酬請求事務能力認定試験

- ◆ 他スタッフ
常勤 13名

- ◆ 他資格
診療報酬請求事務能力認定試験 2名
保険請求事務技能検定試験

3.活動実績

1. コンサルタント会社による減点・返戻削減のための勉強会を月に1回開催
2. 各部署と協議・連携しながら以下の施設基準を届出し、算定を開始しました
 - 2020年4月 せん妄ハイリスク患者ケア加算、椎間板内酵素注入療法、遠隔モニタリング加算（在宅持続陽圧呼吸法指導管理料）
 - 2020年10月 地域包括ケア入院医療管理料 1

コンシェルジュ課

1.概要

病院のサービスの質を向上させて、患者さんの医療満足度を高めることに繋げる接遇のプロフェッショナルとして対応出来るように日々業務を行っております。受付窓口業務はもちろんのこと、電話対応でも、患者さん一人一人に合わせた対応を心がけております。またホームページ更新、院内チラシ作成等の広報関係業務も担っております。2020年11月には初診の方対象にAI問診が導入されました。AI問診内容が電子カルテに反映され、医師の負担軽減に繋がり、診療の質の向上が図れています。

今後も一人一人のスキルを上げ、病院の質の向上を目指し、患者さんの医療満足度に繋がれるように日々努力して参ります。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長	川岸 智恵子	医療事務技能審査2級（医科）

◆ 他スタッフ

常勤 2名

非常勤 6名

◆ 他資格

Word 文章処理技能認定試験 3級

Excel 表計算処理技能認定試験 3級

3.活動実績

窓口業務：外来診察の受付、保険証確認、外来診察終了後のファイルの引き上げ、会計対応。

電話交換手：外部からの電話を院内関係部署へ繋げる。問合せの対応。

広報：ホームページの更新、院内のチラシ作成。

秘書課

1.概要

勤務医の負担軽減をめざし、医療の質の向上や患者サービスの改善に繋がられるよう日々業務を行っています。配属後1年間は外来または入院業務に慣れ、翌年から医師事務作業補助の研修に参加します。

患者さんが当院で安心して受診していただけるよう、接遇・コミュニケーション力・医療現場に求められる医学的知識と医事関連の事務的知識を習得し、医師や各部署間での連携・調整をする役割を担っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長	村中 香織	診療情報管理士 医療事務技能審査2級(医科)
係長	池田 裕子	医科医療事務管理士
主任	福井 陽子	

◆ 他スタッフ

常勤 12名

◆ 他資格

メディカル秘書士 1名

情報処理士 1名

医科医療事務管理士 2名

秘書技能検定2級 3名

医療事務技能審査試験 1名

医療秘書実務能力検定試験1級 2名

医療請求事務能力検定試験1級 2名

調剤薬局事務検定試験 2名

3.活動実績

2012年7月より医師事務作業補助者として病棟クランク1名、外来クランク1名の配置で代行入力、文書作成補助業務がスタートしました。現在は11名体制で業務を行っています。

主な業務は、①外来診療支援及び病棟カルテ代行入力 ②主治医意見書・診断書・診療情報提供書(紹介元への返事)などの医療文書の代行作成 ③一部医師のスケジュール管理 ④医師の退院サマリー作成補助などです。

今後は、教育体制の見直し、院外研修への参加、スタッフ全体での情報共有の場を設け情報共有し、専門性や質を高めていくことが課題です。

4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
10月16日	医事業務研修会	Web開催	1名
12月10日 ～12月11日	医師事務作業補助者研修	Web開催	1名
3月6日	医師事務作業補助者研修実践セミナー	Web開催	1名

診療情報管理室

1.概要

診療録へ正確かつ適切に記載されているかを、検証・評価し、医療の質と安全性の向上に繋げるため、診療録の基本的な保管・管理、質的監査、量的点検を行っています。また、DPC 導入の影響評価にかかる調査（様式1の作成）、退院時サマリーに関するコーディング業務、全国がん登録業務、入院に関する同意書などのスキャン、各種統計の作成を行っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
主任	林田 薫	診療情報管理士 がん登録初級認定者 DPC コース認定 医科医療事務管理士

◆ 他スタッフ

常勤 1名

◆ 他資格

診療情報管理士

初級医療事務技能者

医科医療事務検定 3級

DPC コース認定

3.活動実績

- ・ DPC 導入の影響評価に関わる調査（様式1作成） 2,485 件
- ・ 退院時病歴登録 1,781 名
- ・ 全国がん登録 109 件

4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
8月25日	診断群分類 DPC セミナー	Web 開催	2名
9月8日	血液がんフォーラム	Web 開催	2名
10月16日	全国病院経営管理学会	Web 開催	1名
10月20日	近畿病歴管理セミナー	Web 開催	2名
11月2日	がん登録実務研修	Web 開催	1名
12月18日	近畿病歴管理セミナー	Web 開催	2名
2月4日	がん診療公開講座	Web 開催	2名

地域医療連携部

1.概要

地域医療連携部では、前方連携と入退院支援、総合相談の3大業務に加え、在宅医療支援センターこうなんや近隣施設・企業と協働開催している『出前健康講座』の窓口を担っています。地域の皆様の健康増進や疾病予防に繋がる情報を常に発信しています。

前方連携業務では、地域医療機関からの診察や検査予約、入院のスムーズな受入に努めています。また、レスパイトや医療療養病棟への入院、通院・入院透析の相談・受け入れ窓口にもなっています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、面会を制限させていただいており、入院患者さん、ご家族には大変な不自由をおかけしております。患者さんに家族に会えない事での不安を払拭していただき安心して療養していただけるようにオンライン面会を開設し、ご家族へタイムリーに療養生活の様子やリハビリの進捗を動画で伝えるなど、細やかな入退院支援に努めました。

また、地域のケアマネジャーや施設に向けてはリモートでのカンファレンスを開催し、スムーズな情報共有に取り組みました。今後も入院前・入院早期からの介入を増やし、在宅療養・介護に関することや、医療費、生活費における各種制度、心理的・社会的問題に対して、院内外多職種と連携を図りながら患者さんに寄り添ったサポートを実践して参ります。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	前田 輝子	看護師 主任介護支援専門員
主任	入江 龍介	社会福祉士 介護支援専門員

◆ 他スタッフ

- 看護師 1名
- 社会福祉士 1名
- 事務員 3名

◆ 他資格

- 看護師
- 保健師
- 介護支援専門員
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- 介護福祉士
- 福祉住環境コーディネーター2級
- テクノエイド協会福祉用具プランナー
- 滋賀県糖尿病療養指導士
- 内視鏡技師

3.活動実績

◆前方連携

単位：件

	2019 年度	2020 年度
外来紹介（受診）	940	895
入院紹介（一般）	332	393
入院紹介（療養）	98	122
紹介総数	1,370	1,410

◆退院調整

単位：件

		2019 年度	2020 年度
カンファレンス件数合計		1,020	1,332
内訳	初期	581	874
	中間	74	58
	退院前	210	168
退院支援相談・面談件数合計		5,397	6,668
入退院支援加算 1		458	770

◆総合相談

単位：件

	2019 年度	2020 年度
総合相談件数	597	686

4.学術・研修活動

参加日・回数	研修会	開催地	参加人数
年 2 回	在宅療養支援病院定期カンファレンス	甲賀市	2 名
5 月 25 日	介護保険制度改定・介護報酬改定	甲賀市	1 名
7 月 1 日	甲賀湖南介護支援専門員連絡協議会総会	甲賀市	1 名
8 月 30 日	医療福祉・在宅看取りの地域創造会議	大津市	1 名
10 月 3 日	看護ネットワーク地域包括ケアフォーラム	甲賀市	1 名
10 月 24 日	第 1 回肥満外科治療研修会	甲賀市	1 名
11 月 16 日	地域包括ケア時代の継続看護Ⅱ	大津市	1 名
11 月 23 日	在宅医療セミナー	甲賀市	1 名
12 月 13 日	アルコール依存症からの回復支援	大津市	1 名
1 月 21 日	甲賀・甲南・信楽 認知症初期集中チーム員会議	甲賀市	1 名
1 月 22 日	甲賀圏域看護ネットワーク推進会議	甲賀市	1 名
2 月 18 日	在宅死亡に関する研修会	大津市	1 名
2 月 20 日	ビレッジフォーラムin甲南	甲賀市	2 名
3 月 2 日	第 7 回甲賀保険医療圏域病診担当者会	甲賀市	2 名
3 月 11 日	ビレッジフォーラムin甲南	甲賀市	2 名
3 月 12 日	甲賀圏域看護ネットワーク研修会	甲賀市	1 名
3 月 18 日	こうか在宅医療ネット在宅みなくち医療ネット合同研修会	甲賀市	1 名

管理情報課

1.概要

管理情報課は施設管理、送迎等の運行管理、医療材料の管理、電子カルテを中心とした情報管理を主業務として組織されております。医療材料の部門では2016年度よりSPDを導入して、2017年度より外部委託にて仕入れ・払出しの管理を行っております。専門知識を有する委託業者による運営により医療材料から備品、消耗品、文具に至るまでをカバーして日常の診療や手術、検査をはじめ診療体制の維持に寄与できるように切れ目のない管理体制で業務を進めました。また、その他の業務として設備面での管理業務を担い療養環境の維持に努めております。情報管理部門は電子カルテの導入を機に組織されました。以後、電子カルテの利便性を向上させるために各部署からの意見を細かなところまで聞き取り、メーカーとの調整を図り改善を進めてまいりました。また、日常ではPC関連の不具合への対応などを行い、診療への支障が出ないように管理体制を構築しております。2017年度には電子カルテの更新を実施し、より良いシステムの運用に向け調整を行いました。切り替え時においてもトラブルなく移行することができました。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
主任	隠岐 正治	

◆ 他スタッフ

施設管理担当 2名

車両運転業務 5名（透析患者さん送迎4名・訪問診療ドライバー1名）

情報管理担当 1名

SPD 業務委託会社 1社

施設管理委託会社 1社

3.活動実績

施設管理：設備管理、備品管理、清掃業務を委託業者と連携し担当。

車両運行：透析患者さんの送迎（週6日）、救急車搬送（46件）、一般患者さんの送迎。
放射線部結果フィルム配達（各医院・クリニックへ）。

情報管理担当：電子カルテの更新後の体制構築。

情報システム委員会と協同し、電子カルテ運用対応、改善対応、保守対応。

電子媒体全般のセキュリティ管理および保守管理業務。

医療材料担当：医療材料・機器・備品・消耗品等の計画立案、選定、購入。配備後の管理。

日常の運営管理は委託業者にて担当。

健診センター（事務）

1.概要

当健診センターは癌の早期発見と生活習慣病の予防、改善を目標にしています。病院併設という強みを生かし、オプションで最新鋭の機器を使用した検査を受けることができます。婦人科系健診を他の健診と同時に受診することができるため、多くの女性にご利用いただきました。

予約をいただく際は、個々の希望をお伺いしながら様々なプランをご提案しております。健診当日はスムーズにご案内できるよう最善を尽くし、快適にお過ごしいただけるよう努めております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長 (臨床検査部主任兼任)	重田 美千代	臨床検査技師 抗酸菌エキスパート
係長（事務）	大平 麗菜	診療報酬請求事務能力認定試験 2級医療秘書実務能力認定試験 医師事務作業補助者実務能力認定試験 電子カルテオペレーション実務能力認定試験 医療事務 OA 実務能力認定試験
主任（事務）	中尾 つぐみ	2級メディカルクラーク

◆ 他スタッフ

事務員 3名

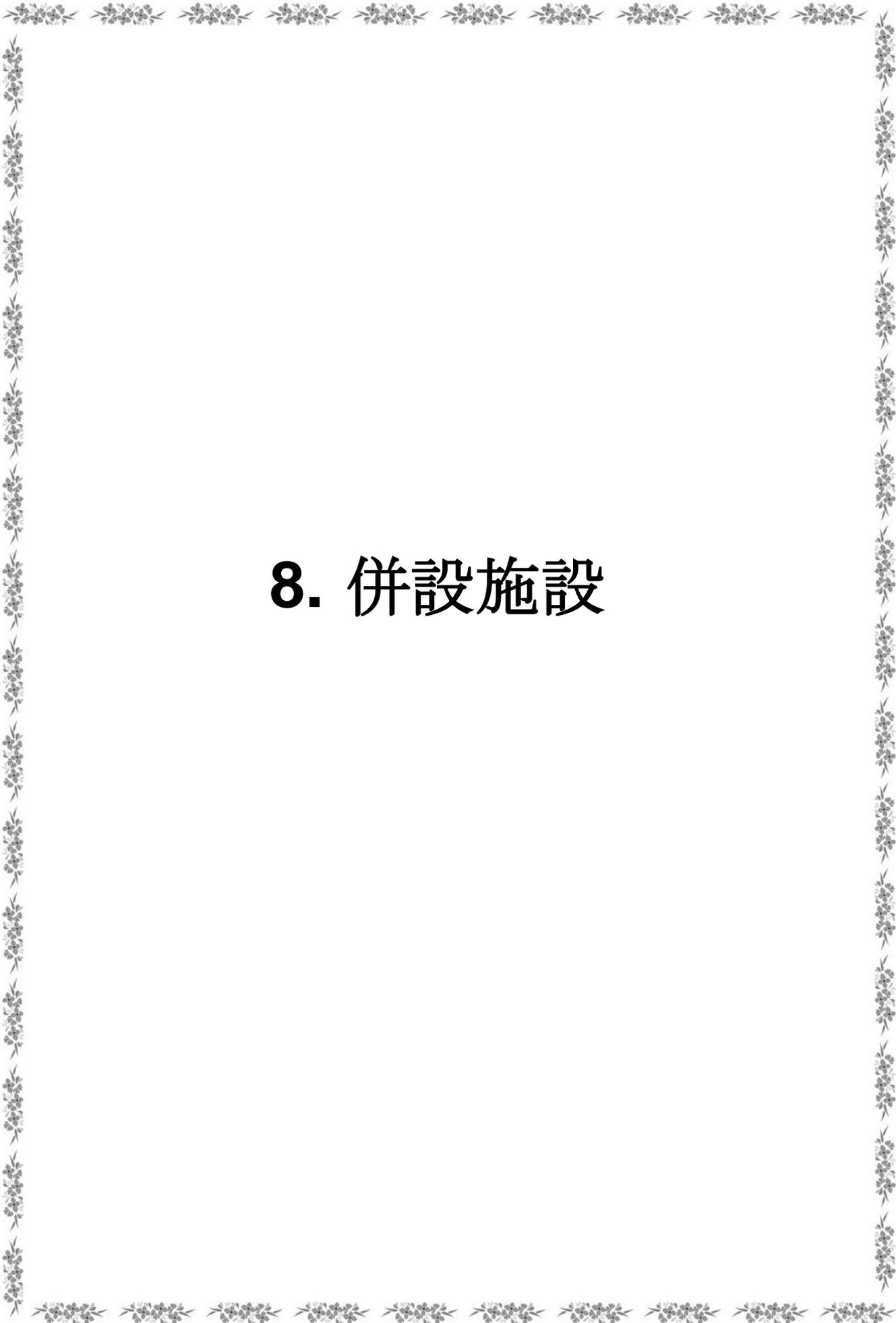
3.活動実績

本年度はコロナウイルス感染症の予防対策を図りつつ、人間ドックの内容を充実させ、各種健診、並びに各種市町村健診を受託し、様々な健診(検診)を受診できる体制を強化しました。

近隣企業からの要望に応じ、新たな健康保険組合の健診をお請けしました。また、様々な個人健診のご要望にもお応えできるように努めました。

4.学術・研修活動

開催日	内容	講師
6月 3日	リスク検査について	臨床検査部
12月 9日	人の「つながり」と健康格差	Web 研修
2月 19日	コロナ禍における健診運営のポイント	Web 研修

A decorative border consisting of repeating floral and leaf motifs, forming a rectangular frame around the page content.

8. 併設施設

在宅医療支援センターこうなん

1.概要

在宅医療支援センターこうなんは、医療法人社団仁生会の『地域貢献』を目的とした「在宅療養を支援する施設」です。医療や介護の相談窓口として、住民の方々への直接的支援を行うほか、甲南病院や近隣施設、企業と協働し、市民講座や出前健康講座・研修会を開催しています。地域に向けて常に情報を発信しています。訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所を併設し、同法人の訪問診療や訪問リハビリテーション事業所も集い、在宅部門として地域に開かれた事業所を目指しています。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延にて、感染予防対策に迫られ、熱発患者さんのトリアージや訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所の利用者さん、ご家族の不安への対応、体調管理など、職員にとって緊張感の高い1年となりました。ご利用者の安心・安全に少しでも貢献できるように、各事業所が質の向上に向けて取り組みました。

出前健康講座は地域への出張からDVDの貸し出しに形態を変更して継続いたしました。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
センター長	古倉 みのり	医師
副センター長	前田 輝子	看護師 主任介護支援専門員

3.活動実績

	2018年度	2019年度	2020年度
医療・介護相談件数	25件	20件	53件
福祉用具・自助具相談	10件	5件	12件
出前健康講座	25回(711人)	26回(763人)	2回
事業所向け研修	11回(170人)	7回(167人)	0回

4.学術・研修活動

◆ 出前健康講座実績

開催月	テーマ	講師
11月	高齢者の栄養について	増田管理栄養士
3月	ゴムチューブを使った体操	リハビリテーション部

居宅介護支援事業所

1.概要

事業所の理念：地域の皆様の安心・信頼・満足を得られるよう努力します。

利用者の『自分らしい暮らし』の実現のために、本人の意向に基づき居宅サービス計画を作成し、適切なサービス提供が確保されるよう支援しています。常にご本人の『生活への不安』やご家族の『介護への揺れる思い』に寄り添い、安心していただける関わりを心掛けています。地域の医療機関や地域包括支援センター等と連携しながら介護支援を提供すると共に、継続的に研修に参加し、ケアマネジャーの資質向上に努めています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
所長	林 巳恵子	主任介護支援専門員 看護師
副所長	森 由紀雄	主任介護支援専門員 社会福祉士・視能訓練士

◆ 他スタッフ

介護支援専門員 2名

事務員 1名（兼務）

【2020年度を振り返って】

滋賀県介護支援専門員研究大会で演題発表を行いました。コロナ禍でも研修（Web）に積極的に参加し、質の向上・利用者満足に努めました。コロナ感染対策をしっかりと行い、利用者さんの安全に努めました。

3.活動実績

月別利用者数

2020年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総数	98	98	92	92	97	102	104	107	109	106	104	109	1,218
要介護 1-2	52	51	48	49	51	52	52	51	54	56	51	51	618
要介護 3-5	31	30	28	27	29	31	33	32	30	28	32	35	366
介護予防	15	17	16	16	17	19	19	24	25	22	21	23	234

2019 年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総数	101	99	95	99	97	98	98	98	96	101	97	90	1,169
要介護 1-2	57	52	53	55	52	52	53	55	51	53	51	49	633
要介護 3-5	31	33	29	31	32	33	33	29	30	33	31	27	372
介護予防	13	14	13	13	13	13	12	14	15	15	15	15	164

4.実習生受入状況

3月1日～3月3日	介護支援実務研修実習対象者	1名
-----------	---------------	----

5.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
5月13日	医療安全研修	甲賀市	4名
6月11日	個人情報保護研修	Web開催	4名
7月3日	新型コロナウイルス感染症対策についての研修会	甲賀市	1名
7月22日	新型コロナウイルスの感染対策	草津市	1名
8月21日	「CHASE」科学的介護と生産性向上 WEB セミナー	Web開催	4名
8月25日	新型コロナウイルスに伴うリスク サービスリスク 労務リスクの理解	草津市	1名
8月28日	感染症対策セミナー	甲賀市	1名
9月18日	難病医療ネットワーク研修	Web開催	3名
10月13日	主任ケアマネ学習会	甲賀市	1名
11月6日	課題整理総括表を活用したサービス担当者会議について	草津市	2名
11月9日	彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 合同研修会	Web開催	1名
11月11日	令和2年度 要介護度改善研修会	Web開催	1名
11月11日 11月12日 11月20日	医療安全研修	甲賀市	4名
11月17日	主任介護支援専門員 フォローアップ研修	草津市	1名
11月20日	居宅介護の計画書の記載の仕方について	草津市	2名
12月14日	メンタルヘルス兼人権研修	甲賀市	3名
12月21日	介護の未来を今、どうかえるか	甲賀市	2名
1月26日	第15回滋賀県介護支援専門員研究大会	草津市	4名
2月6日	令和2年度滋賀県介護支援専門員連絡協議会 会員研修	草津市	1名
2月22日	令和2年度介護給付適正化事業に係るケアプラン点検	甲賀市	4名
2月26日	令和2年度甲賀地域歯科保健推進研修会	甲賀市	1名
3月25日	令和2年度集団指導	草津市	1名
3月27日	令和3年度介護報酬改定説明会	草津市	2名

訪問看護ステーションこうなん

1.概要

『ときどき入院、ほぼ在宅』をモットーに、ご自宅へ訪問しケアを提供しています。

様々な疾患や症状、認知症、要介護状態を抱えた方でも、住み慣れた自宅で安心して過ごすことができるように、主治医をはじめ、ケアマネジャーなど他事業所と細やかに連携を図るよう努めています。

入院されると、面会制限もあり寂しい思いをされる方も多く、なるべく入院しないように、入院しても短期間で済むように、症状悪化の早期発見に努めています。また、疾病の増悪や機能低下予防のためにも生活指導に力を入れていきたいと日々精進しています。

また、利用者さん・ご家族の「住み慣れた自宅で最期を迎えたい、迎えさせてあげたい」という希望を叶え、後悔のないような在宅看取りを実現できるよう取り組んでいます。今年も ACP の研修に参加し、適切な時期に人生会議をスタートできるように取り組んでいます。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
所長	真田 多恵	看護師 訪問看護ステップ1 修了

◆ 他スタッフ

看護師 9 名

事務員 1 名

理学療法士 2 名（病院と兼務）

◆ 他資格

訪問看護ステップ1 修了 3 名

3.活動実績

訪問回数（介護）	平均	306.3 件／月	利用者数	平均	94 名／月
訪問回数（医療）	平均	89.5 件／月	在宅看取り件数		15 件

【『厚生労働大臣が定める疾病等』にあたる訪問】

- * 末期の悪性腫瘍
- * パーキンソン病
- * 重症筋無力症
- * 筋萎縮性側索硬化症（ALS）
- * 人工呼吸器を使用している状態

【特別管理加算にあたる訪問】

- * 尿道留置カテーテル
- * 胃ろう
- * 腎ろう
- * 腸ろう
- * 人工肛門
- * 人工膀胱
- * 在宅酸素
- * 真皮を超える褥瘡の状態
- * 点滴 3 日以上

【2020 年度を振り返って】

コロナ禍において利用者さん・ご家族に安心してサービスを提供できるように、ステーション独自の感染対策マニュアルを作成しました。また、近隣の他の訪問看護ステーションと連携し「甲賀市訪問看

「連携システム」を構築し、感染症や災害時に当ステーションが一時閉鎖となった場合でも訪問看護サービスを継続できるような体制作りを行いました。

4.実習生受入状況

期間	事業所名
	今年度なし

5.学術・研修活動

◆ 出前健康講座

開催日	テーマ	開催地	講師
	今年度なし		

◆ 参加研修会

開催日	研修会	開催地	参加人数
7月 2日	訪問看護 eラーニング「排泄管理・排泄ケア」	県看護協会	1名
7月 15日	訪問看護 eラーニング「訪問看護概論・看護過程」	県看護協会	1名
10月 8日	訪問看護 eラーニング「フィジカルアセスメント」	県看護協会	1名
9月 26日	在宅緩和ケア研修 ～医療用麻薬・医療材料の取り扱いについて学ぶ～	市民学習交流センター	2名
10月 16日 ～10月 18日	精神科訪問看護基本療養費の算定に必要な研修	県看護協会	2名
11月 26日	訪問看護 eラーニング「ターミナル期の看護」	県看護協会	1名
12月 5日	訪問看護ステーション同士の災害・感染症対策連携システムを考える	Web 開催	1名
1月 9日	もう一度見直そう！新型コロナウイルス感染症との向き合い方	県看護協会	1名
1月 21日	在宅死亡に関する研修会	Web 開催	1名
1月 24日	創傷・オストミーWEBセミナー	Web 開催	1名
3月 8日	訪問看護新任管理者研修 1	Web 開催	1名

他、年間通して院内の研修に参加しています。

訪問リハビリテーション事業所

1.概要

退院後で在宅生活に不安がある方・寝たきり等になり自宅での動作練習が必要な方に対して、自宅に訪問しリハビリテーションを提供させて頂いております。

主治医の指示の下、心身機能の維持・回復や日常生活での動作能力向上の為に、利用者さんに適した訓練プログラムやご家族への助言・指導等を行っております。また、必要に応じて福祉用具や住宅改修の検討やアドバイスなどを行い、利用者さんに合わせた動作方法の確認や動作指導を実施しております。

利用者さん・ご家族の『地域での暮らし』が永続的に送れるよう、入院担当のリハビリテーションスタッフと連携を図り、退院後も継続したリハビリテーションを提供できるよう努めています。利用者さんの個性を尊重し、『暮らし』がより良い生活となるように「支援」しております。

また地域におけるリハビリの一翼を担うと共に、ケアマネジャーや他職種の方と積極的に連携を図り、利用者さんやご家族に満足して頂けるようスタッフ一同努力しております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
所長	古倉 みのり	医師
副所長	村地 健太	理学療法士

◆ 他スタッフ

理学療法士 5名

作業療法士 1名

3.診療実績

訪問件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	407	374	457	477	419	470	556	526	511	478	477	545	5,697
予防	137	137	150	161	152	140	164	151	147	145	130	176	1,790
医療	21	21	20	23	21	35	35	33	33	28	21	24	315

総合計 7,802件 (2019年度 7,431件)

総利用者数 175名 (2019年度 162名)

4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
1月17日	藤田リハADL講習会（FIMを中心に）一般初心者コース	Web開催	1名

ひまわり保育園

1.概要

職場の勤務時間・勤務日に合わせて夜間や日曜・祝日も開園し、保護者が安心して働けるように保育士と保護者が連携しながら毎日を送っています。保育士は子どもたち一人ひとりの発育・発達を援助し、楽しい園生活が送れるようにサポートしています。

◆ 保育目標

- ・ ころもからだも健やかな子
- ・ 自分で考え、行動できる子
- ・ 友だちとのびのび遊べる子

◆ 保育方針

- ・ 安全で安心して遊べ、信頼できる保育園を目指す
- ・ 自然と触れ合いながら、のびのびと充実した生活を送る

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
園長	柊木 由紀美	保育士

◆ 他スタッフ

保育士 常勤 5名

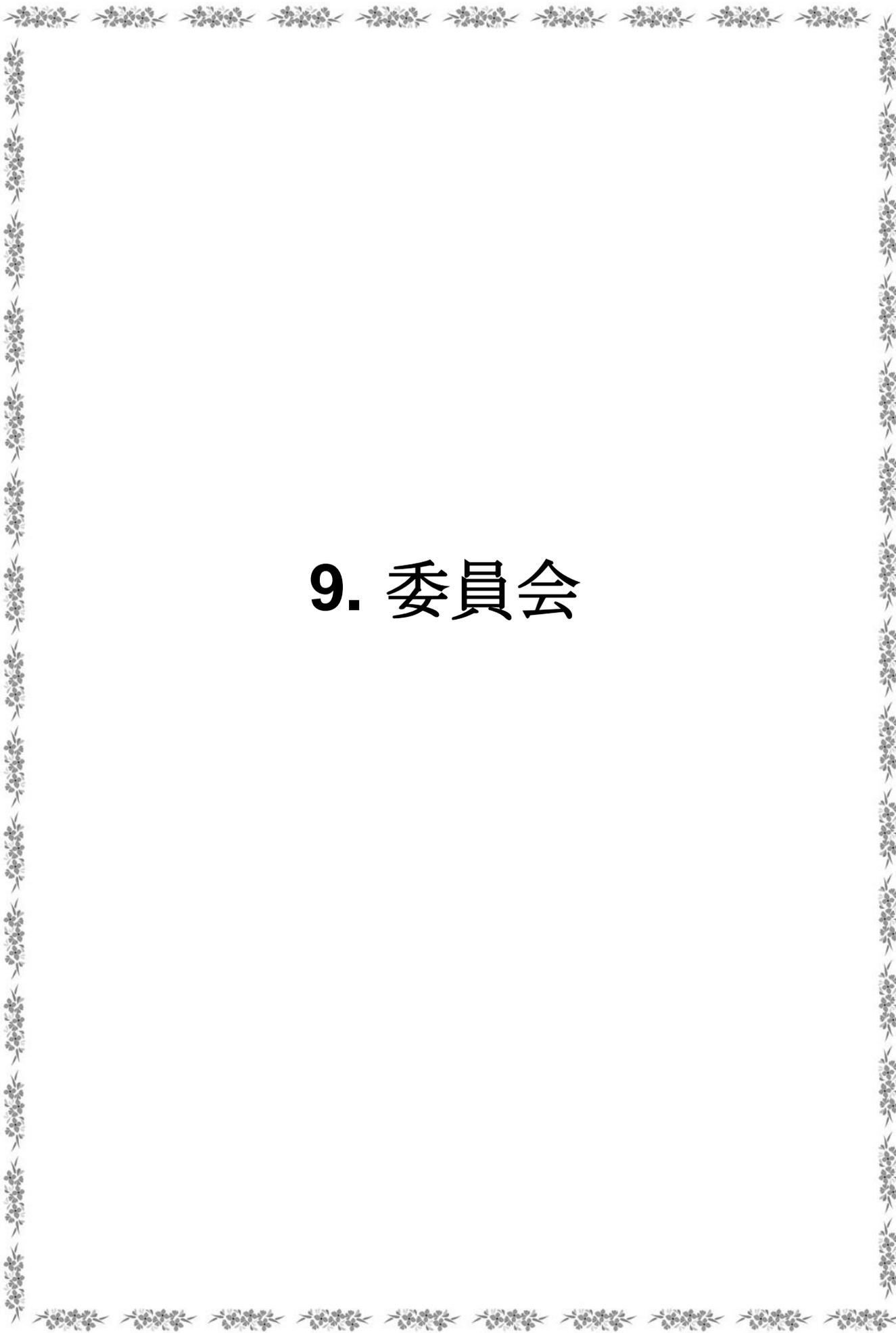
非常勤保育士（夜勤専属含む） 5名

3.活動実績

2020年4月から在園児は15名、土日祝日に利用する他園児を含めると28名の子どもたちで新学期がスタートしました。その後0歳児は少しずつ増え退園者もあって変動もありましたが、2021年3月末には在園児19名、他園児を含めると32名の利用がありました。

異なる年齢の子どもたちと一緒に生活する中で、年上の子どもにあこがれを持ったり、年下の子どもには優しくいたわったりしながら、自然に相手のことを思いやる気持ちが育ってきています。

基本的な生活習慣面では、年齢に応じて排泄、衣類の着脱、歯ブラシ、お箸の使用などにも取り組んでいます。身体計測、お誕生日会、避難訓練、四季折々の行事も行っています。エプロンシアターやパネルシアター、ペープサートなど子どもが興味のある教材を使用する事で、集中して話を聞ける子どもが増えました。子どもたちの園生活が楽しくなるような環境づくりを職員一同心がけています。

A decorative border consisting of repeating floral and leaf motifs surrounds the page content.

9. 委員会

医療安全委員会

委員長名	田中 豊彦
目的	<p>安全かつ適切な医療の提供を行うため、医療事故を未然に防止し、医療の質の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント報告提出の推進（800件以上/年） ・インシデント報告から、原因究明と再発防止対策、評価を行い医療事故の防止に努める ・マニュアルの見直し（医療安全管理指針、規定、事故発生時の手順など） ・医療安全に関する情報の発信、周知活動
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理者委員会（1回/月） <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの見直し、改訂（組織図・規定） ・誤接続防止コネクタの変更 ・術前 HIV 検査開始 ・転落防止の為の窓の開閉制限装置の設置 ・個人情報漏洩防止の為、裏面印刷禁止決定、実施 ・「入院生活や治療を安全に受けて頂くための説明書」の改定 2. 医療安全委員会（1回/月） <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント、アクシデントレポート集計報告（毎月） ・各部署の報告（インシデント・アクシデント）の原因分析・再発防止対策の検討 ・集合研修の企画・実施と出席率 UP のための工夫と対策 ・個人情報保護のため裏面印刷についての規定作成、紙の使用量のチェック 3. 転倒転落ワーキング（8回/年） <ul style="list-style-type: none"> ・離床センサー、コールマットの研修会（1回/年） ・転倒転落患者のラウンドを実施、再発防止策に繋げる ・センサー類の OFF ゼロ運動実施、職員にアンケートを実施する事で原因究明と職員への意識付けの強化 4. 薬剤ワーキング（1回/月） <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師と病棟看護師とのカンファレンス（各病棟毎月1回） 5. 医療機器ワーキング（1回/年） <ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器の使用前後の札の運用 ・新型コロナウイルス肺炎患者さんに使用する人工呼吸器等の取り扱い ・車いす用離床センサーの運用開始 6. 医療安全ラウンド（リスクマネージャー：7回/年） 7. 医療安全研修会の開催（2回/年） 8. 医療安全だよりの発行（3回/年） 9. 医療安全推進週間ポスター掲示（11月）

- 10. 医療安全情報の周知活動と情報共有（毎月）
- 11. 医療安全対策地域連携相互チェック（3施設、書面会議）

<研修会などの実績>

1. 新入職員研修

院内研修 4月4日

内容 「医療安全の基本的な考え方」

講師 堤 栄子（医療安全管理者）

参加 14名

2. 第1回医療安全研修会

院内研修 6月11日、6月17日、6月20日、6月26日

内容 「よくわかる個人情報の基本と取り扱い」

学研ナーシングサポート

参加 322名

参加率 89.7%

3. 第2回医療安全研修会

院内研修 11月11日、11月12日、11月20日

内容 「職場でできるヒューマンエラー対策」

学研ナーシングサポート

参加 354名

参加率 90.7%

医療ガス安全管理委員会

委員長名	岡崎 哲也
目的	医療ガスの安全使用と適切な運用を図り、患者さんの安全を確保し良質な医療提供を目的に組織されています。
活動実績	<ol style="list-style-type: none">1. 医療ガス安全管理委員会の開催（コロナの為来年度へ延期）2. 院内での高圧ガス安全講習会の開催（コロナの為来年度へ延期）<ul style="list-style-type: none">・残量把握の計算方法、容量別使用時間の目安など実務に沿った講習・事故例など使用しての安全講習会の実施開催3. 外部にて開催される高圧ガス安全講習会への参加4. 適正利用のための保管管理5. 使用量の管理6. 医療ガス設備の保守・管理

医療情報システム委員会

委員長名	神谷 純広
目的	当院における医療情報システムを適切に運営するため分析・処理・運用・管理を行い、職員に対する指示・教育・啓発などを行う。
活動実績	<ol style="list-style-type: none">1. 電子カルテシステムのブラッシュアップ2. AI 問診導入3. 輸血検査システムリモート保守導入4. Medi-Bank リモート保守導入5. 行動計画の策定

医療の質業務改善委員会

委員長名	山本 寛
目 的	仁生会 甲南病院における環境が患者さんにとって安心・安全・安楽な環境であるよう検討し改善を提言することを目的とする。また院内に関する諸問題を適宜協議し、各部門と連携を取りそれを周知徹底することを目的とする。
活動実績	<ol style="list-style-type: none">1. 外来患者満足度調査<ul style="list-style-type: none">・ 11月24日～11月31日（午前診・午後診）に外来患者さんを対象にアンケート調査実施・ 結果集計後、グラフ化を行い、外来フロアへ掲示・ 改善点を確認し、業務改善を行った2. 業務改善検討<ul style="list-style-type: none">・ 各部署の問題を持ち寄って検討を行い、改善へつなげた3. 臨床評価指標<ul style="list-style-type: none">・ 機能評価にてクリニカルインディケーターを調査

衛生委員会

委員長名	岡崎 哲也
目的	<p>本委員会は甲南病院で働く職員の労働環境に関して、労働安全衛生法をもとに労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。</p> <p>委員会は次の各号に掲げる事項を所掌する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場における職員の安全と健康の確保 ・ 快適な作業環境の形成 ・ 健康管理事業の適正運営の確保 ・ 危険防止の為の基本的対策 ・ 労働災害の原因、再発防止対策 ・ 上記活動を行う為に、院内調査及び指導を行う
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各部署の衛生管理、定期巡回 2. 職員 B 型肝炎ワクチン接種啓発 3. 職員健診、特定保健指導対象者への受診通知 4. 交通安全に関する DVD 研修受講推進 5. 職場づくりアンケートの実施、分析 6. 業務事故、通勤事故における原因と再発防止対策 7. 院内研修会「体操のお兄さん直伝！元気になるスペシャルストレッチ」 2月1日～2月3日 参加者数：135名

感染対策委員会

委員長名	西 崇男
目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス感染症による院内クラスターの発生をさせない。 2. 経路別感染防止対策の見直しと再周知。 3. 院外の感染症情報を早期に認識し、院内の対策を検討・対応を行う。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定例会議を 12 回、臨時会議（8 月以降の新型コロナウイルス対策本部会議を含む）を 25 回開催した <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月、感染症及び耐性菌の発生状況、抗菌薬使用状況と適正使用評価、医療関連感染の発生状況の症例報告と分析検討、ICT 活動を報告、新型コロナウイルス対策本部会議の報告と取り決め内容の周知を行った ・ 以下のマニュアル等を改訂 <ul style="list-style-type: none"> ➤ メンバー表と院内感染緊急連絡網の更新（4 月承認） ➤ 血管留置カテーテルの感染管理（7 月承認） ➤ 針刺し事故対応マニュアル・フローチャートの改訂（10 月承認） ・ 4 月 吸引器、吸引通水用カップのディスポ化を承認 ・ 4 月 リハビリ実習生受け入れ無期限延期を決定 ・ 4 月 臨時コロナウイルス対策会議について <ol style="list-style-type: none"> ① 外来受付現状報告 ② 濃厚接触について保健所確認内容報告 ・ 5 月 感染性廃棄物処理計画の更新 ・ 5 月 外来リハビリテーション再開を承認 ・ 5 月 換気の院内放送開始 ・ 5 月 臨時コロナウイルス対策会議について取り決めを周知 <ol style="list-style-type: none"> ① マスクの在庫状況と今後の使用方法について（継続） ② 病棟面会について ③ 外来診察中のマスク着用について ④ 在宅リハビリテーションについて ⑤ 入院患者さんの外出泊、マスク脱着、食事について ・ 6 月 新型コロナウイルス抗体検査について ・ 6 月 健診肺機能検査の 7 月より再開を承認 ・ 6 月 令和 2 年度第 1 回 ICT 合同カンファレンスに参加 ・ 6 月 臨時コロナウイルス対策会議について取り決めを周知 <ol style="list-style-type: none"> ① コロナでの規制項目について ② 詰所内の IC 場面の 3 密、ゴーグル、マスク装着と体温チェックについて ③ 入院患者さんの四季のつどいについて ・ 7 月 2019 年度滋賀県抗菌薬使用量調査の結果報告

- ・ 7月 ICTより手指衛生自己評価チェック実施報告
手指衛生の5つのタイミングをインフォメーションにて啓発
手指消毒用アルコール製剤の使用制限を解除
- ・ 7月 長野看護師が石川県立看護大学感染管理認定看護師教育課程を受講
- ・ 7月 人工鼻フィルターについて採用を承認
- ・ 7月 新型コロナウイルス対策本部より以下の取り決めに周知
 - ① アクリル板の設置箇所について
 - ② 個人防護具の着脱研修について
 - ③ 介護保険更新申請の方の調査について
 - ④ 当院のPCR検査の対象と対応について
- ・ 8月 ICT委員長よりお勧めの血液培養2セット採取を周知する
- ・ 8月 化学療法委員会より初回ケモ時に行う採血検査について
- ・ 8月 新型コロナウイルス対策本部より以下の取り決めに周知
 - ① PCR検査咽頭ぬぐい液採取について
 - ② 術前検査・内視鏡前検査のPCR検査について
 - ③ 入院当日の家族の入棟制限について
 - ④ 面会規制中のWeb説明やオンライン面会について
 - ⑤ 次亜塩素酸水の配置場所を決定
 - ⑥ 退院時の家族出迎え場所の許可について
 - ⑦ リハビリ室家族面会について
- ・ 9月 一般・職員インフルエンザワクチン接種日を決定
- ・ 9月 第2回 ICT合同カンファレンスに参加(9/28)
- ・ 9月 インフルエンザ(鼻咽頭)・マイコプラズマ抗原(咽頭)・MRSA(鼻腔)の採取について、採取者と場所・PPE装着について協議、決定
- ・ 10月 新型コロナウイルス対策本部より、健診肺機能検査の再開を許可、発熱外来問診票、電子カルテのテンプレートの運用について
- ・ 10月 院内研究発表会のZoom対応について
- ・ 11月 感染症サーベイランス報告様式について
- ・ 11月 第3回 ICT合同カンファレンス(甲賀病院)11/30に参加
- ・ 11月 新型コロナウイルス対策本部より以下の取り決め内容を周知
 - ① 各種会の開催について、開催基準、禁止、解除基準を決定
 - ② 面会禁止の継続
 - ③ 安全キャビネット導入
 - ④ 発熱患者フローの変更、発熱外来、コロナ抗原定量検査について
 - ⑤ 時間外患者、入院患者の発熱時対応について
- ・ 11月 第2回感染研修について、内容・開催日時を決定
- ・ 11月 滋賀県感染制御ネットワーク巡回支援を受けた
11月10日14:00~16:00
- ・ 11月 滋賀県立大学栄養学科実習生2名受入れを許可

- ・12月 アウトブレイク疑いに対して、調査を進める
オムツ交換・吸痰時 PPE 着用を周知、部屋の前に PPE 配置、他部署にも周知
- ・12月 MDRP (2 系統) アウトブレイク、カルバペネム系 (IPM/CS : 耐性) キノロン系 (CPFX, LVFX : 耐性) あり、個室隔離、ガウンテクニック実施
- ・12月 菌種別薬剤感受性セットについて、1月からの変更を承認
- ・12月 流し台・排水溝清掃用スポンジ使い捨て開始
- ・12月 新型コロナウイルス対策本部より以下の取り決め内容を周知
 - ① 新規入院患者さんを対象にルミパルス検査開始
 - ② 陰圧ストレッチャーの取り扱い説明・使用開始日・運用方法を決定
 - ③ 年末年始の抗原定量検査について
 - ④ 新発熱外来の動線について
- ・12月 臨時会議開催
院内保育園で12月19日～12月23日ノロウイルス感染症発生、12月28日終息
- ・1月 高度耐性菌 MDRP(2 系統)1 名検出 (継続)
- ・1月 菌種別薬剤感受性セットについてセットにない薬剤を2月から追加
- ・1月 ICT より、ESBL 産生菌のアウトブレイクに対して个人防护具の外し方の動画研修実施
- ・1月 研修生、実習生の受入れ時のコロナ検査受検について
B 型肝炎ワクチンマニュアル改訂について
- ・1月 コロナ検査結果を待たず早急に入院が必要な場合の緊急用病室の確保を検討
- ・1月 新型コロナウイルス対策本部より以下の取り決め内容を周知
 - ① 入院患者さんの発熱時のコロナ検査、甲賀病院からの転院受け入れについて協議
 - ② 当日局所麻酔手術患者のコロナ検査について
 - ③ コロナワクチン接種について、全職員対象に行う (任意) 予定
- ・2月 ESBLs (P.mirabilis) (継続) アウトブレイク疑い、高度耐性菌 MDRP(2 系統) 1 名 (継続)
- ・2月 2021 年度 予算・事業計画作成
- ・2月 実習生確認事項について、リハビリ職・管理栄養士用の養成校への依頼文書、調査票の修正を承認
- ・2月 2020 年度の院内インフルエンザワクチン接種の終了を許可
- ・2月 新型コロナウイルス対策本部より以下の取り決め内容を周知
 - ① 局麻手術患者、実習生、職員入職者、内視鏡患者のコロナ検査について
 - ② 転院患者さん当院受け入れ時の対応について
 - ③ 健診肺機能検査の中止再開基準について
 - ④ コロナワクチンについて
- ・3月 ESBLs (P.mirabilis) のアウトブレイク疑い 3 例あり、長野看護師調査

- ・ 3月 ICT より各病棟休憩所のレイアウト変更済
来年度の新入職者研修でフル PPE 着脱の演習を検討
- ・ 3月 新型コロナウイルス対策本部より以下の取り決め内容を周知
 - ① 病棟職員と退院患者さんのコロナ陽性について報告および今後の対応
 - ② 近隣病院クラスター発生まとめ
 - ③ 患者さんやご家族にマスクの着用を徹底してもらう方法
 - ④ コロナワクチン接種の流れ、役割分担の決定
 - ⑤ 当院の医療従事者のコロナワクチン接種について
- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策として面会禁止や様々な周知事項の発信
- ・ ICT 合同カンファレンスに 3 回参加、メンバーの啓蒙活動により手指消毒順守率向上維持、各種感染環境改善を検討・実施を行った

2. 研修実績

院内研修

日時 2020年4月4日
 場所 当院会議室・食堂
 内容 院内感染対策の基礎-感染の基本を知って自分の身を守ろう！
 講師 ICT 委員長・ICT 副委員長
 参加 2020年度入職者 20名

院内研修

日時 2020年5月13日・5月16日
 場所 当院会議室・食堂
 内容 病院における新型コロナウイルス感染症の対応と課題【DVD】
 講師 がん・感染症センター 東京都立駒入病院 感染制御科医長／臨床検査科医長／院内感染対策室長：関谷 紀貴 氏
 参加 計 307名（全職員数 361名） 参加率 85%

院内研修

日時 12月24日・12月25日・12月26日
 場所 当院会議室・食堂
 内容 新型コロナウイルス感染症が変えた医療現場 【DVD】 47分
 参加 12月24日 96人、12月25日 110人、12月26日 87人
 合計 293人（全職員数 355名） 参加率 82.5%

院外研修

12月2日 院内感染防止対策研修（WEB研修）
 主催 滋賀県感染制御ネットワーク
 内容 「クラスターの予防と対応の考え方」

	<p>「新型コロナウイルス感染症の現状と今後の備えについて」</p> <p>参加 荒川江美、中井典子</p> <p>院外研修 1月25日 新型コロナウイルス感染症対策研修</p> <p>場所 滋賀県看護協会研修センター</p> <p>講師 滋賀県健康医療福祉部医療政策課課長：切手 俊弘 氏 公立甲賀病院感染管理認定看護師：木下 桂 氏</p> <p>内容 「新型コロナウイルス感染症、看護職にできること、当院のクラスター対応における反省点」 「新型コロナウイルス感染症を正しく理解し正しく恐れるための心得」</p> <p>参加 辻杏奈、井上良子</p>
--	---

研修委員会

委員長名	松尾 素也
目的	良質な医療・看護を提供するために、全職員を対象とした教育・研修を実施することで職員の資質向上をはかり、地域医療に貢献することを目的とする。
活動実績	<ol style="list-style-type: none">1. 定例委員会を2ヶ月に1回開催 合計6回開催<ul style="list-style-type: none">・研修会の振り返り・参加者の集計・研修会のアンケート集計と意見の検討・予定研修会の内容確認2. 申請された研修会の補助<ul style="list-style-type: none">・研修会の案内・会場準備・参加者アンケート集計

広報委員会

委員長名	小崎 一雄
目 的	地域の皆様に役立つ情報を発信し、甲南病院の魅力を広報する。
活動実績	<p>1. 広報誌「きらめき」発行 ※地域住民向け 4月、7月、10月、1月発行 A4サイズ 8ページ 病院行事の案内、報告、職員や医師の紹介、特殊外来や検査の紹介、季節ごとのひとくちメモ、リハビリ体操、レシピ等をシリーズ化して掲載</p> <p>2. 「甲南病院だより」発行 ※関連医療機関、施設向け A4サイズ 1ページ 裏面に外来担当医表を掲載 5月、6月、8月、9月、11月、12月、3月発行 病院の行事、休診情報、外来担当医表、部署紹介等を掲載</p> <p>3. 毎月1回委員会を開催 4月、7月、10月、1月 広報誌「きらめき」発送作業と次回記事の検討 5月、8月、11月、2月 「甲南病院だより」発送作業と記事チェック 6月、9月、12月、3月 「甲南病院だより」発送作業</p>

褥瘡対策委員会

委員長名	神谷 純広
目的	<ul style="list-style-type: none">・患者さんの入院中の環境を整え褥瘡発生の予防や再発防止に努める。・院内の褥瘡対策方法を検討・立案し、褥瘡治療に関する知識・技術の向上に努める。
活動実績	<ol style="list-style-type: none">1. 褥瘡回診の実施 毎月最終週の木曜日2. 褥瘡対策委員会の開催 毎月最終週の金曜日3. 院内研修会 開催日：2月25日、2月26日 テーマ：「症例で学べる DESIGN-R に基づく創傷マネジメント」4. 褥瘡に関するデータ（院内発生率、治癒率）集約5. 創傷管理に関連した衛生材料、創傷被覆材、栄養補助食品など褥瘡対策備品の検討

診療記録管理委員会

委員長名	川浪 二郎
目的	適切な診療録を管理・活用するため、診療録の質と量の点検・監査を行う。
活動実績	委員会開催日 ・毎月最終月曜日 16 時～ 1. 達成率報告 (Dr サマリー・Ns サマリー) 2. 収入報告 (体制加算・データー加算) 3. 量的点検・質的点検について 4. 新規文書書類の承認 5. 年 2 回診療録の監査 6. 年 2 回コーディング委員会開催 (疾病名・薬剤について/薬剤部参加)

パートナーシップ倫理委員会

委員長名	馬場 真奈美
目的	患者さんの権利と安全確保について検討し改善を提言することを目的とする。また院内に関する倫理問題を適宜協議し、各部門の連携を取りそれを周知徹底することを目的とする。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教的信条から輸血・輸注を拒否する患者さんの取扱いマニュアル、フローチャートの見直し（デキストラン製剤の商品名から一般名へ変更）を行った。 2. 宗教的信条から輸血・輸注を拒否する患者の取り扱いガイドラインを変更した。 2020年5月から本院では「相対的無輸血」の立場で診療を行うことに変更した。 3. 説明して同意を得る手順を変更した。「状態が変わらない患者に同じ検査・処置・麻酔による手術を再施行」→「状態が変わらない患者に同じ検査・処置・局所麻酔による手術を再施行」へ変更した。 4. 患者さんの権利、患者さんと当院とのより良いパートナーシップを築くために、職業倫理綱領、DNR（蘇生措置拒否）の取扱いガイドライン、研究・演題投稿時の倫理的配慮のガイドライン、終末期医療の基本方針、臨床研究に関する規定について旧院長名の記載を削除した。 5. 「甲南病院 臨床研究倫理審査委員会規定」を10月1日に制定した。「臨床研究倫理審査委員会委員」メンバーが決定した。 6. 倫理問題検討会 <ul style="list-style-type: none"> 8～10月 ワンショット注射の患者さんの苦痛軽減について（3A病棟） 9月 知的障害がある夫婦の後見人について（地域医療連携室） 12月 カテーテル室 12誘導心電図のマグネローデについて（外来） 1～3月 認知症患者さんが拒否する中心静脈栄養カテーテル挿入について（2A病棟） 2月 本人の理解力が低く親族にも意向確認が難しい場合の終末期の意思確認について（地域医療連携室） 7. 臨床倫理コンサルテーション会議 3件 8. 研究・演題投稿時の倫理審査 0件 9. 臨床研究倫理審査委員会 2件 10. 会議（月1回）

防災委員会

委員長名	岡崎 哲也
目的	病院の防災対策を検討、周知する目的で組織。主に防火対策や大規模災害を想定しての準備及びマニュアルの整備を進める。また、患者さんの医療確保、医療の継続を中心に体制整備を構築する。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急連絡網の整備と訓練 2. 危機管理委員会マニュアル、防災マニュアル、夜間休日の緊急時対応マニュアル、停電マニュアル、大規模災害マニュアル、火災時手順、自衛消防隊等の整備 これらの共通マニュアル保存の管理 3. 火災総合訓練の実施 4. 消防設備の点検と改修管理 5. 非常時対応の備蓄品管理 6. 非常時電源（自家発電装置、蓄電池）の管理 7. 火災訓練・消防設備の点検 <ul style="list-style-type: none"> ・甲南病院・ひまわり保育園にて実施 ・在宅医療支援センターこうなんでは、消火器などの備品の確認及び消火活動、避難行動の基本を指導 8. 防災委員会開催 9. 大規模災害訓練開催

薬事委員会

委員長名	川浪 二郎
目的	医薬品の適正な管理運用を図るため、医薬品の新規院内採用や採用中止、有効性や安全性について審議、評価する。
活動実績	<p>1. 開催日（原則、月に1度開催する） 4月16日、5月12日、6月22日、7月27日、8月24日、9月26日、10月24日、11月28日、12月26日、1月30日、2月27日、3月27日</p> <p>2. 採用・中止医薬品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規・臨時院内採用医薬品 53品目 ・ 院内採用中止医薬品 58品目 <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品の添付文書改訂に伴う注意喚起等の情報発信 ・ 供給困難医薬品について ・ 使用期限の近い医薬品の案内と処方提案 ・ 同成分・同効薬医薬品の院内採用の見直し ・ 後発医薬品の院内採用と使用の促進・啓発 ・ 医薬品の自主回収連絡の周知と回収 ・ 院内・院外処方箋発行率の報告

輸血療法委員会

委員長名	瀬川 秀和
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・輸血療法が適正に行われるように管理し、供給体制を整える。 ・輸血、血液製剤に関する情報を職員に提供し周知する。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 奇数月最終火曜日に委員会を開催し、下記内容について、報告・検討・協議 <ul style="list-style-type: none"> ・血液製剤、特定生物由来製品の使用数報告（2020年度） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 赤血球製剤 618 単位 整形外科 102 単位、外科 248 単位、循環器 78 単位、透析 60 単位、内科 130 単位 ➢ FFP 製剤 100 単位 整形外科 12 単位、外科 76 単位、循環器 6 単位、内科 6 単位 ➢ 血小板製剤 210 単位 整形外科 10 単位、外科 130 単位、循環器 10 単位、内科 60 単位 ➢ アルブミン製剤 1433.3 単位 整形外科 175.0 単位、外科 908.3 単位、循環器 300.0 単位、心臓血外 8.3 単位、内科 41.7 単位 FFP/RBC 比=0.16 ALB/RBC 比=2.32 ➢ 製剤廃棄 RBC4 単位（廃棄率 0.6%）、FFP2 単位（廃棄率 2.0%） <ul style="list-style-type: none"> ・血液製剤、特定生物由来製品の適正使用の評価 ・副作用報告 0 件 ・在庫情報 ・輸血前後感染症検査報告 4、5 月 実施率：60% ・輸血適正加算件数報告 103 件 2. 輸血在庫情報の掲示 3. 院内インフォメーションにて輸血情報を発信 4. 9 月 滋賀県輸血療法委員会 2019 年度血液製剤使用量等アンケート調査回答 5. 11 月 厚労省委託事業 令和 2 年度血液製剤使用実態調査回答 6. 研修会実績 <ul style="list-style-type: none"> 3 月 滋賀県輸血療法委員会 血液製剤適正使用研修会参加 5 月 院内新人研修会 <ul style="list-style-type: none"> 対象：看護部、検査部 内容：輸血検査について 輸血副作用について、輸血セット取り扱い実技 講師：血液センター学術担当、臨床検査部

臨床検査適正化委員会

委員長名	神谷 純広
目的	<p>臨床検査が適正に行われ、また、臨床検査部の運営が健全に行われるよう、以下の内容について協議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床検査の適正化に関する事 2. 精度管理調査に関する事 3. 調査研究に関する事 4. 臨床検査項目の導入及び廃止に関する事 5. 臨床検査部の運営に関する事
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 4月は第2金曜日、6月以降隔月第3木曜日に委員会を開催した <ul style="list-style-type: none"> ・4月 4月1日より輸血分析装置の稼働開始 ・4月 4月1日より HIV 抗原抗体検査の院内測定開始 ・6月 6月1日より HIV 抗原抗体検査は至急以外は外注測定へ ・6月 肺機能検査のフィルター一体型マウスピースを、ウイルス濾過効率 99.999%のものに変更 ・8月 便潜血検査や喀痰検査等の検体採取説明用紙を見直し ・8月 8月2日より便 CD 抗原検査が外注測定へ ・9月 9月1日より感染症検査が至急以外は外注測定へ ・9月 CPX のマスクをディスポーザブルフィルターのタイプに更新 ・11月 CPX の AT 解析ソフトバージョンアップ ・11月 コロナウイルス抗原定量検査の院内測定開始 ・2月 細菌検査について、菌種別の薬剤感受性セットに変更 ・2月 2月4日より超音波装置キャノン Aplio i800 を導入 2. 装置保守は毎日・週1回・月1回・3ヶ月毎にそれぞれ実施し、内部精度管理は毎日2種類の管理血清で実施 3. 外部精度管理は、6月に日本臨床検査技師会サーベイ、8月に滋賀県精度管理調査に参加し、どちらも高評価を得た

NST（栄養サポート）委員会

委員長名	馬場 真奈美
目的	すべての患者さんが健全な栄養状態を保てるように適正な栄養摂取をサポートする。
活動実績	<ol style="list-style-type: none">1. 病棟栄養カンファレンス（隔週）2. NST 会議（月 1 回）3. 嚥下造影検査年間検査数 33 件（うち院外より紹介 2 件）4. 病棟 NST 回診 月 1 回5. NST メンバー研修会 開催日：8 月 14 日（Web 研修会） テーマ：「テルモ経管栄養剤について」 講師：テルモ株式会社

認知症サポート委員会

委員長名	馬場 真奈美
目的	<ul style="list-style-type: none">・ 認知症患者さんの認知機能や生活能力に合わせた援助を行い、認知症患者さんがその人らしく施設や地域で生涯を全うできるように QOL を支援する。・ 地域から入院、入院から地域への情報収集の方法・記録の見直しを行い情報共有の流れを一元化する。・ 事例を通して個別的な支援方法を検討し情報の共有と協働をすすめる。
活動実績	<ol style="list-style-type: none">1. 認知症サポート委員会 規定を見直した2. ライフレビュー・ライフヒストリーの活用方法の検討3. 会議（月 1 回） 会議にて病棟患者さんの症例検討会を毎回行った

編集後記

2020年度も無事に年報を発刊することが出来たことに感謝いたします。

今年も前年に引き続き印刷会社への依頼は行わず、年報委員会メンバーで編集・校正を行いました。今年の年報作成開始時期には、住民向けの新型コロナウイルスワクチン接種の対応や（財）日本医療機能評価機構による更新認定受審を12月に控え、慌ただしく年報の作製に取り組み、完成いたしました。

2020年度は、新型コロナウイルス一色の1年でした。“新しい生活様式”の中で、日常生活を送り、日々の業務を進めて参りました。入院患者さんやご家族には、面会禁止を原則とし、ご不便をおかけいたしました。その中で、少しでも入院生活の不安やご心配を取り除くため、地域医療連携部を中心としたオンラインでの面会にご協力いただいております。前年度に引き続き感染対策を万全に、慎重な対応を行い、現時点で当院でのクラスターが発生することなく安堵しております。コロナワクチン接種が進み、コロナが早く落ち着くことを祈念いたします。

最後になりましたが、編集にあたり、忙しい日常の業務の合間を縫って、原稿作成などをお引き受けいただきました各診療科及び各部門の責任者や執筆者の方々に、心より感謝いたします。また、年報をお届けできましたことについて、ご関係の皆さまのご支援と、ご協力に対し、重ねてお礼申し上げます。

コンシェルジュ課 川岸 智恵子